

**介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査  
調査結果報告書**

**【 概 要 版 】**

**令和2年3月**

**宮 津 市**

# 目次

■ 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	1
I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果概要	2
1 回答者の基本属性	2
2 回答者の家族構成	3
3 回答者の介護・介助の状況	3
4 からだを動かすことについて	5
5 食べることについて	9
6 毎日の生活について	11
7 地域での活動について	16
8 たすけあいについて	18
9 健康について	20
10 認知症のことについて	23
11 これからの生活について	24
12 成年後見制度について	25
13 延命治療について	27
II 在宅介護実態調査の結果概要	29
1 回答者本人の基本属性	29
2 家族や親族による介護の状況とサービス・支援に対するニーズ	30
3 人生の終い支度や終末医療について	45
4 主な介護者の就労と介護の両立について	47

## ■ 調査概要

### 1. 調査目的

本調査は、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「第9次宮津市高齢者保健福祉計画・第8期宮津市介護保険事業計画」の策定のための基礎資料とすることを目的とし、本市在住の65歳以上の方の健康や生活実態、介護の実態等を把握するために実施しました。

### 2. 調査設計

- ・ 調査地域：宮津市内全域
- ・ 調査対象：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
宮津市在住の65歳以上で、要介護1から5までの認定を受けていない方  
在宅介護実態調査  
宮津市内の在宅で生活している要支援、要介護認定を受けている方及びその方を介護する家族
- ・ 調査方法：郵送配布、郵送回収
- ・ 調査期間：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
令和元年11月29日（金）～12月22日（日）  
在宅介護実態調査  
令和元年11月1日（金）～11月29日（金）

### 3. 回収状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	6,030件	4,120件	68.3%
在宅介護実態調査	793件	520件	65.6%

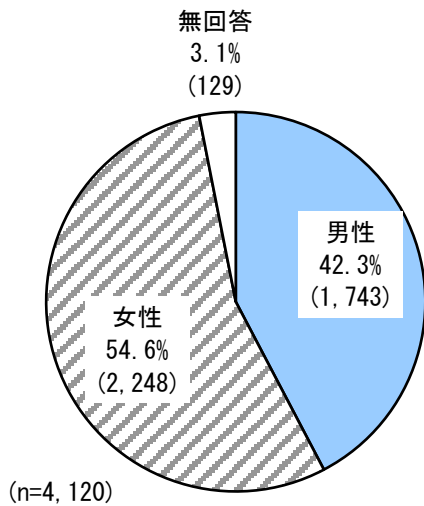
### 4. 報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入しました。（比率の合計が100.0%にならない場合があります。）
- ② 図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味です。
- ③ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。

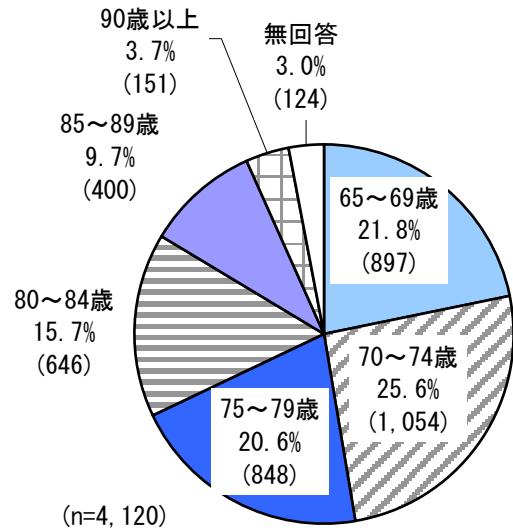
# I 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査の結果概要

## 1 回答者の基本属性

(1) 性別 [問 1 (1)]

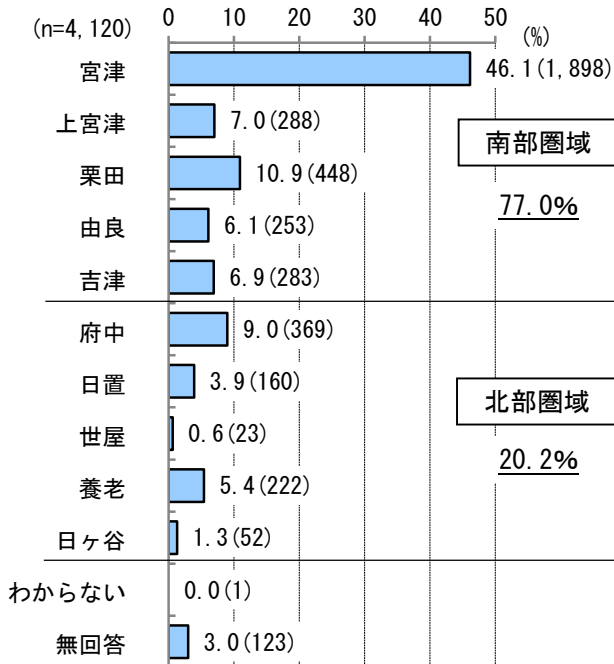


(2) 年齢 [問 1 (2)]

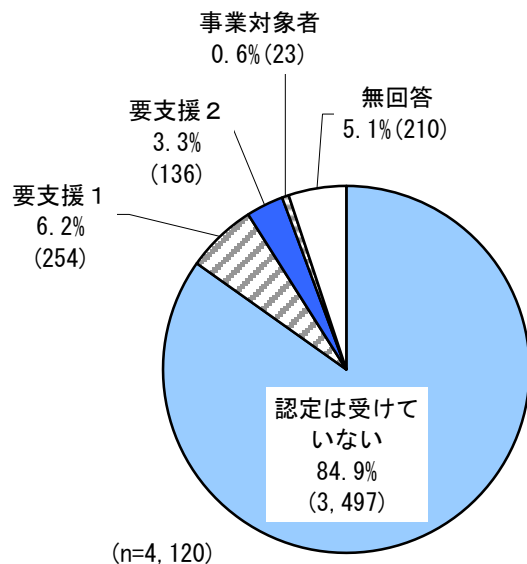


※カッコ内は回答者数

(3) 居住地域 [問 1 (3)]



(4) 要支援認定の状況 [問 1 (4)]



※カッコ内は回答者数

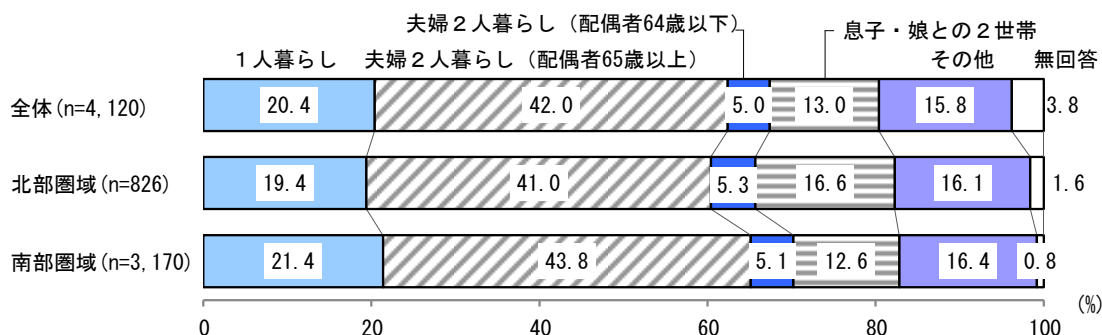
※日常生活圏域・・・地理的条件、生活形態、人口等社会的条件を総合的に勘案して設定したもので、宮津市では2圏域を設定。

## 2 回答者の家族構成

### (1) 家族構成

問1 (5) 家族構成を教えてください (○は1つ)

- ・ いずれの圏域も「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が最も多くなっています。
- ・ 「1人暮らし」の割合は、いずれの圏域も2割前後となっています。



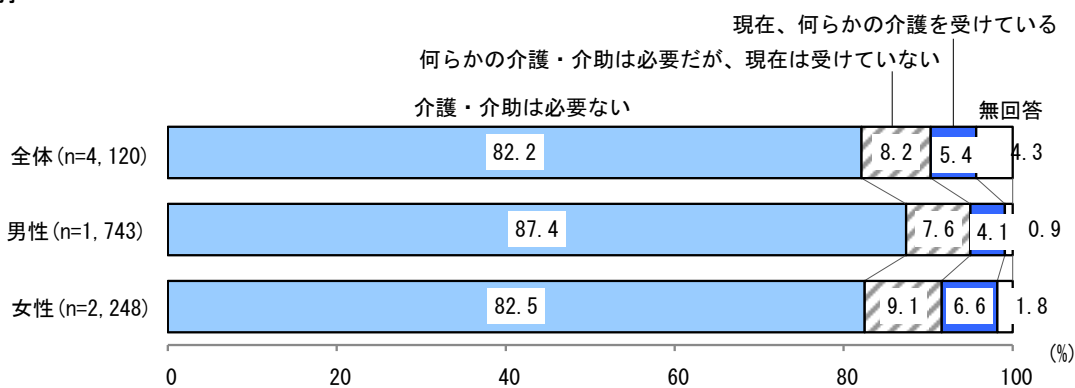
## 3 回答者の介護・介助の状況

### (1) 介護・介助の必要性の有無

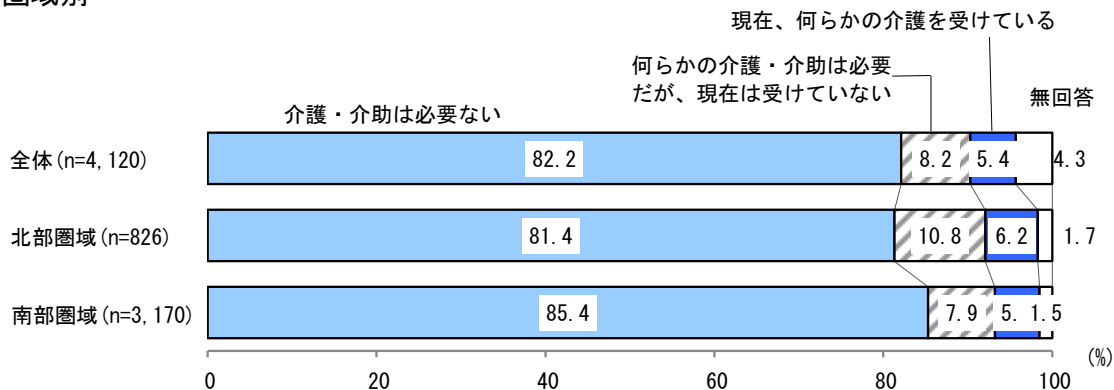
問1 (6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

- ・ 男女とも「介護・介助は必要ない」が8割を占めています。
- ・ 圏域別では、いずれの圏域も「介護・介助は必要ない」が8割を占めています。

□性別



□圏域別



① 介護・介助が必要になった原因

問1 (6) ① 【(6) において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をした方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (○はいくつでも)

(上位5疾病・%)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=559)	高齢による衰弱 18.8	骨折・転倒 18.1	心臓病 14.7	関節の病気(リウマチ等) 11.4	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)他 9.1

② 主な介護者

問1 (6) ② 【(6) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をした方のみ】

主にどなたの介護、介助を受けていますか (○はいくつでも)

(上位5項目・%)

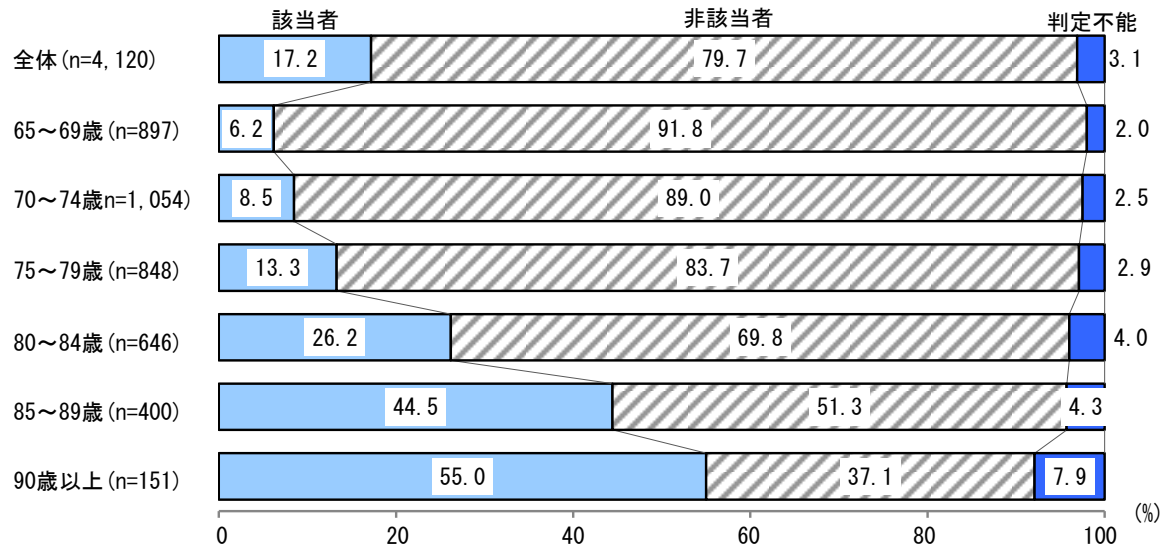
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=221)	配偶者(夫・妻) 31.7	介護サービスのヘルパー 27.1	息子 20.4	娘 19.9	子の配偶者 8.1

## 4 からだを動かすことについて

### (1) 運動機能の低下リスク

- 運動機能低下リスクの該当者の割合は80歳を境に急激に上昇しています。

\*リスク評価（下記の設問のうち3問以上に該当すれば、運動機能の低下リスクあり該当者）

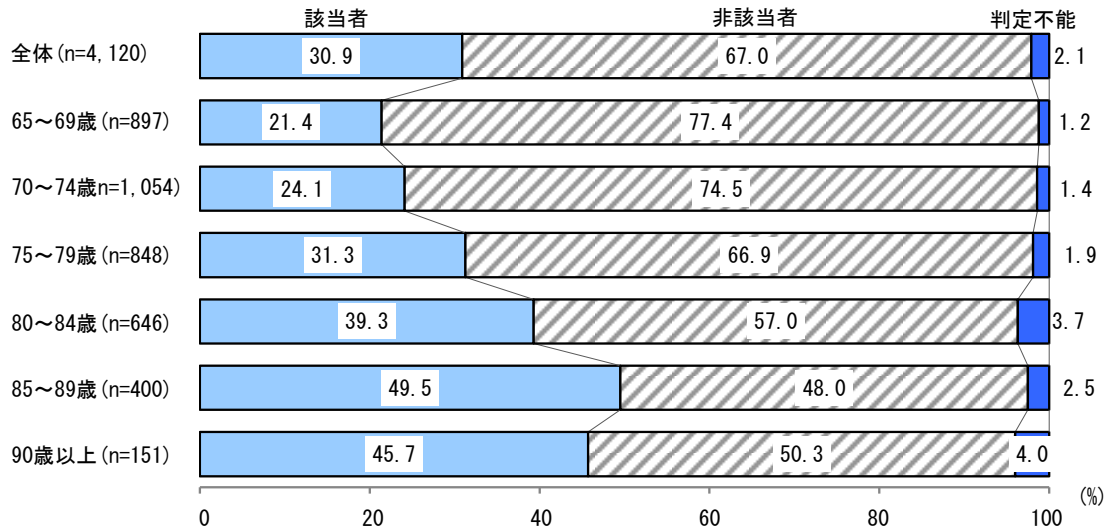


問番号	設問	該当選択肢	該当割合 (%)						
			全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」	20.6	7.8	10.2	17.6	32.7	49.0	59.6
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」	13.3	4.8	6.8	9.3	21.4	33.5	43.7
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「できない」	10.1	3.5	4.9	7.3	15.2	26.5	35.1
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」 「一度ある」	30.9	21.4	24.1	31.3	39.3	49.6	45.7
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」 「やや不安である」	48.4	36.0	39.3	47.4	60.5	72.0	76.2

## (2) 転倒リスク

- ・ 転倒リスクの該当者の割合は、おおむね年齢が上がるとともに上昇しています。

\* リスク評価（下記の設問の選択肢に該当すれば、転倒リスクあり該当者）

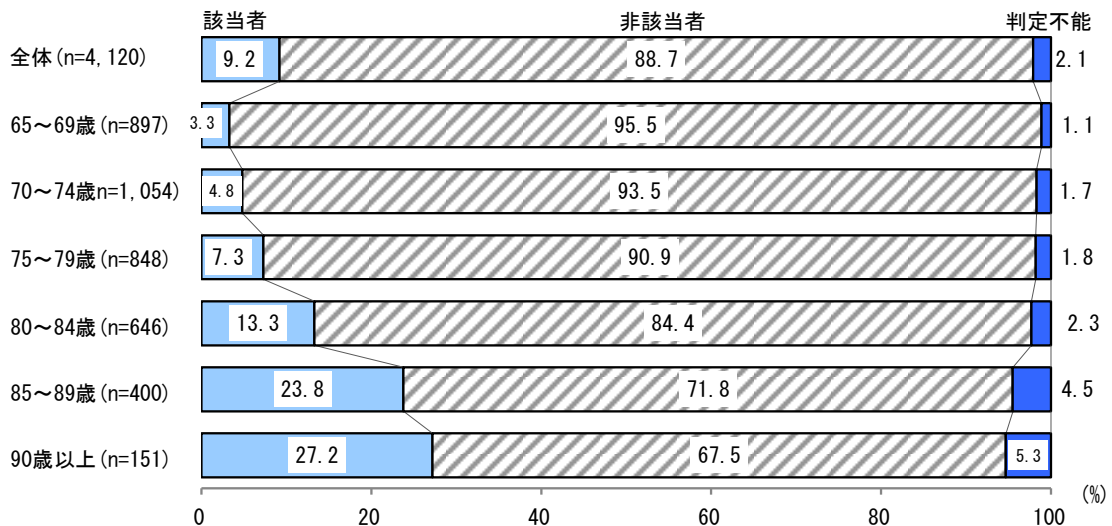


問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」 「一度ある」	30.9	21.4	24.1	31.3	39.3	49.6	45.7

## (3) 閉じこもりリスク

- ・ 閉じこもりリスクの該当者の割合は、加齢とともに上昇し、85歳以上の各年代では2割を超えています。

\* リスク評価（上記の2問ともに該当すれば、閉じこもりリスクあり該当者）



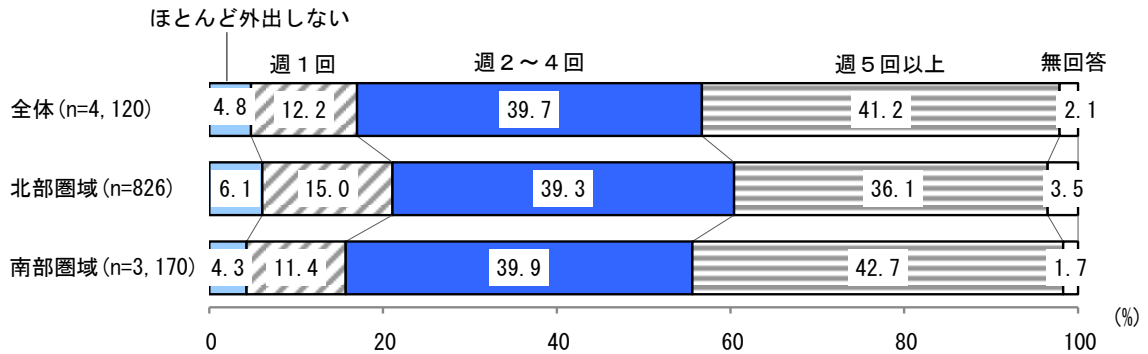
問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」 「週1回」	17.0	8.2	12.0	13.4	24.4	34.6	41.1
問2(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「とても減っている」 「減っている」	21.8	13.9	13.5	20.0	28.9	45.8	46.3



### ①週1回以上の外出の状況

問2(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

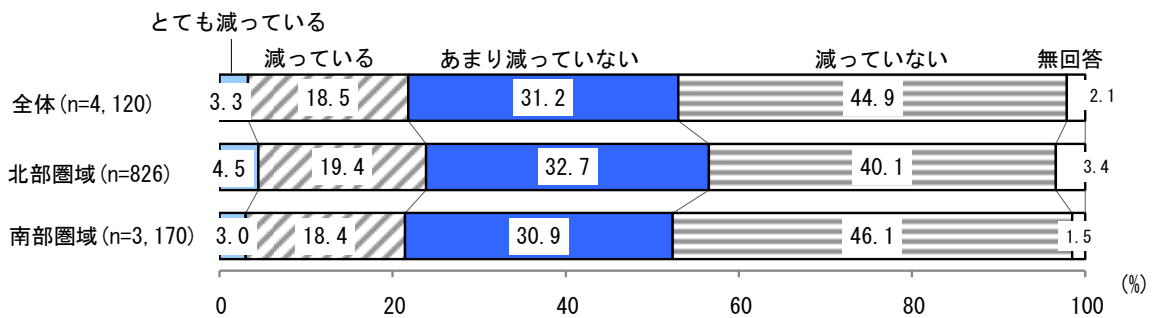
- ・ 「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『外出しない』割合は、北部圏域が21.1%で、南部圏域(15.7%)に比べ高くなっています。



### ②昨年と比べて外出回数の減少状況

問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

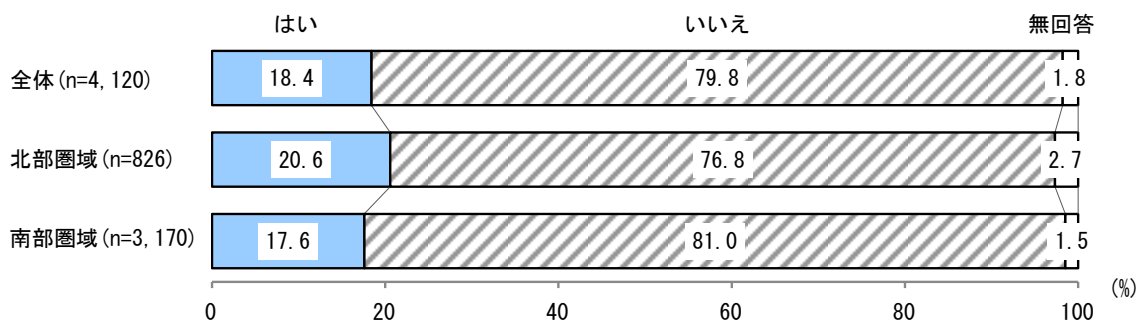
- ・ 「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』割合は、北部圏域が23.9%で、南部圏域(21.4%)に比べやや高くなっています。



### ③外出控え

問2(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

- ・ 外出を控えている割合(「はい」の割合)は、いずれの圏域も2割前後で、回答者の約5人に1人となっています。



#### ④外出を控えている理由

問2(8)①【(8)で「1. はい」(外出を控えている)に○をした方のみ】

外出を控えている理由は、次のどれですか(○はいくつでも)

- ・ 全体では、「足腰などの痛み」(52.2%)が最も多く、次いで「交通手段がない」(19.4%)、「トイレの心配(失禁など)」(16.6%)となっています。
- ・ 圏域別では、「交通手段がない」割合は、南部圏域に比べ北部圏域のほうが8.1ポイント高くなっています。

(上位5理由・%)

	1位	2位	3位	4位	5位
全 体 (n=759)	足腰などの痛み 52.2	交通手段がない 19.4	トイレの心配 (失禁など) 16.6	外での楽しみが ない 14.5	病気 12.0
北部圏域 (n=170)	足腰などの痛み 57.1	交通手段がない 25.9	トイレの心配 (失禁など) 20.0	外での楽しみが ない 14.7	経済的に出られ ない 12.9
南部圏域 (n=557)	足腰などの痛み 51.3	交通手段がない 17.8	トイレの心配 (失禁など) 15.8	外での楽しみが ない 14.9	病気 12.6

#### (4) 外出の際の移動手段

問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか(○はいくつでも)

- ・ 全体では、「自動車(自分で運転)」(62.1%)が最も多く、次いで、「徒歩」(47.9%)、「自転車」(30.5%)が続いています。
- ・ 圏域別では、自動車はあまり差はありませんが、「徒歩」「自転車」「鉄道」「タクシー」の割合は、北部圏域より南部圏域のほうが高くなっています。

(上位5手段・%)

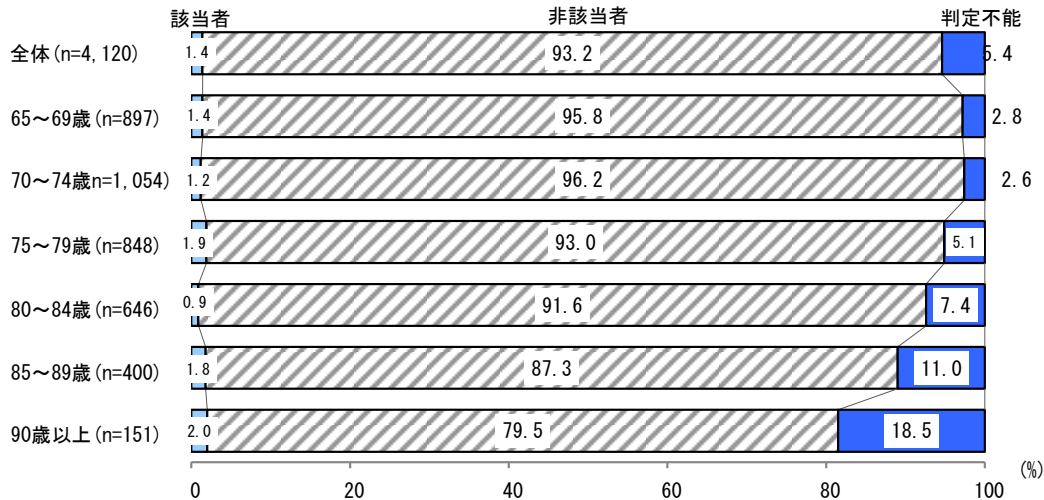
	1位	2位	3位	4位	5位
全 体 (n=4,120)	自動車(自分で 運転) 62.1	徒歩 47.9	自転車 30.5	自動車(人に乗 せてもらう) 27.4	路線バス 14.7
北部圏域 (n=826)	自動車(自分で 運転) 63.3	徒歩 43.3	自動車(人に乗 せてもらう) 29.1	自転車 19.7	路線バス 16.6
南部圏域 (n=3,170)	自動車(自分で 運転) 61.7	徒歩 49.0	自転車 33.5	自動車(人に乗 せてもらう) 27.0	路線バス 14.4

## 5 食べることについて

### (1) 低栄養リスク

- ・ リスクがある高齢者は、どの年齢も1～2%程度となっています。

\*リスク評価（下記の設問の2問ともに該当すれば、低栄養リスクあり該当者）

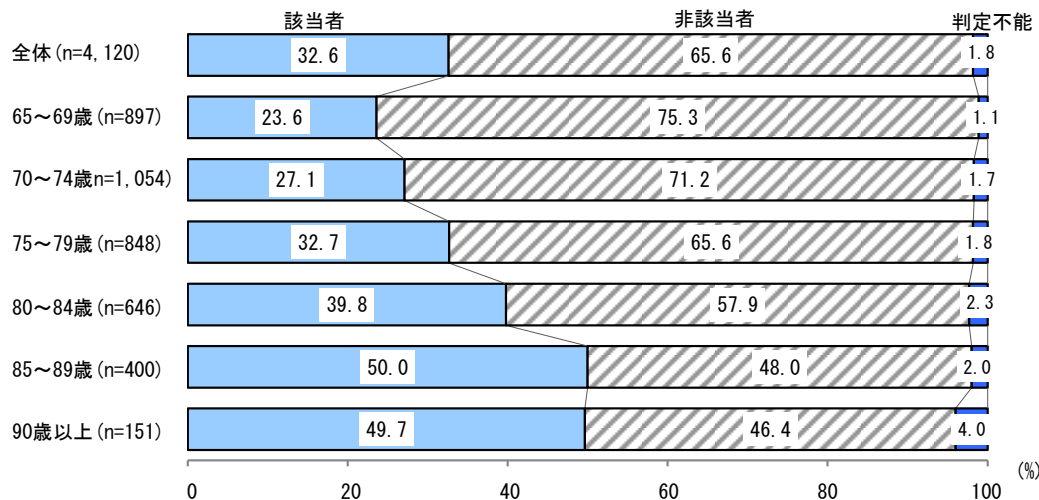


問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
問3(1)	身長・体重 BMI値=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))	BMI値18.5未満 (やせ)	8.8	8.5	8.5	9.0	9.0	10.8	7.3
問3(7)	6箇月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」	12.4	14.0	10.5	11.8	11.1	15.8	13.9

### (2) 咀嚼機能の低下リスク

- ・ リスクの該当者の割合は加齢とともに上昇し、85歳以上の各年代では半数を占めています。

\*リスク評価（下記の設問の選択肢に該当すれば、咀嚼機能の低下リスクあり該当者）

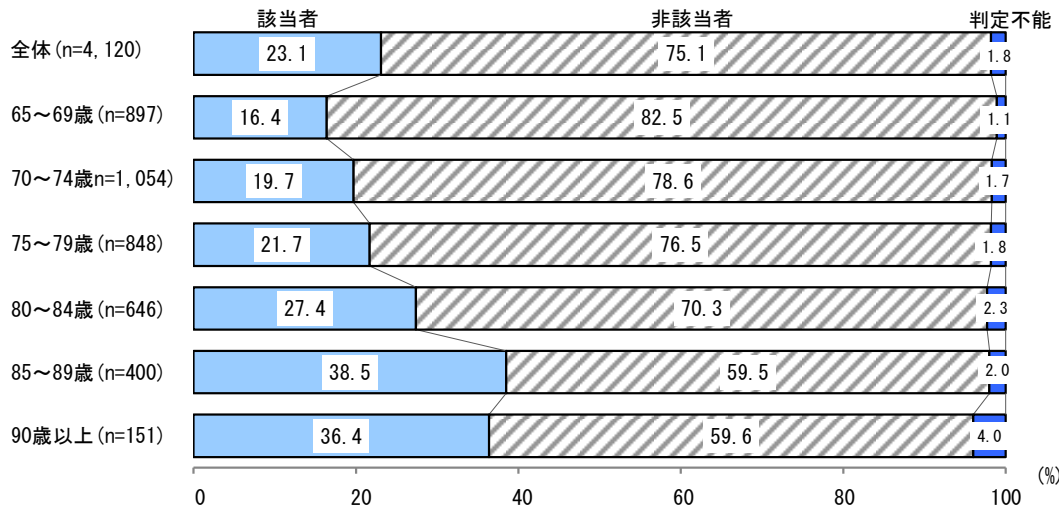


問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」	32.6	23.6	27.1	32.7	39.8	50.0	49.7

### (3) 口腔機能の低下リスク

- 口腔機能低下リスクの該当者の割合は85歳以上の各年代では4割近くを占めています。

\*リスク評価（下記の設問のうち2問以上に該当すれば、口腔機能低下リスクあり該当者）



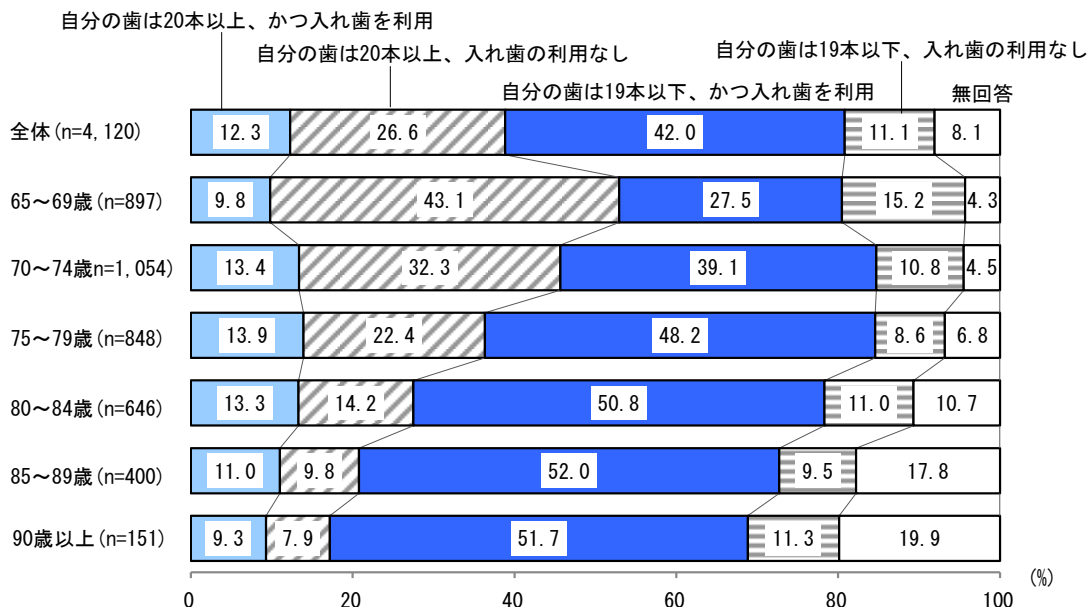
問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」	32.6	23.6	27.1	32.7	39.8	50.0	49.7
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」	25.4	19.5	24.7	23.0	28.8	36.5	36.4
問3(4)	口の渇きが気になりますか	「はい」	24.8	22.2	21.9	24.3	27.4	33.8	32.5

### (4) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

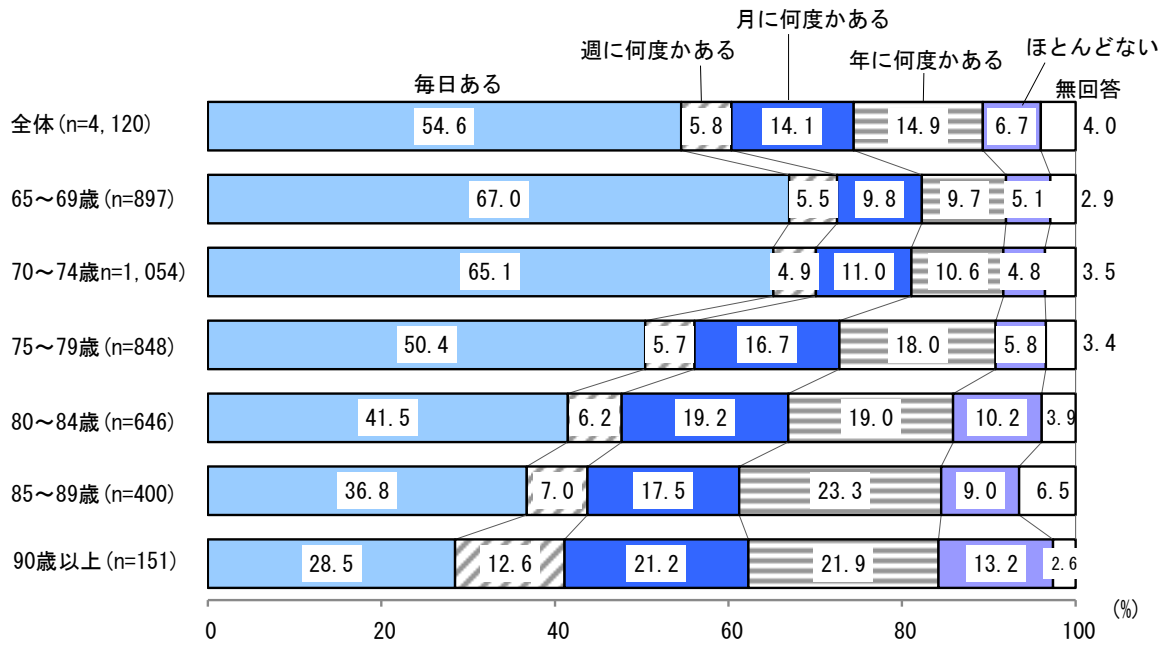
- 入れ歯を利用する高齢者は半数を占めています。
- 「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は、概ね年齢が上がるほど高くなっています。



## (5) 共食頻度

問3 (8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は1つ)

- 「毎日ある」の割合は、65～74 歳までの年代では6割を超え、年齢が上がるほど共食の頻度は低下傾向がみられます。



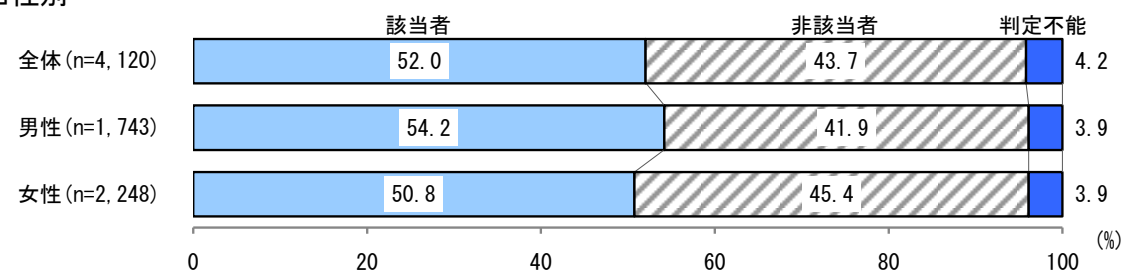
## 6 毎日の生活について

### (1) 認知機能の低下リスク

- 性別では、認知機能の低下リスクのある割合は女性に比べ男性のほうがやや高くなっています。
- 年齢別では、認知機能の低下リスクのある割合は、65～74 歳の前期高齢者では5割近くを占め、加齢とともに上昇しています。

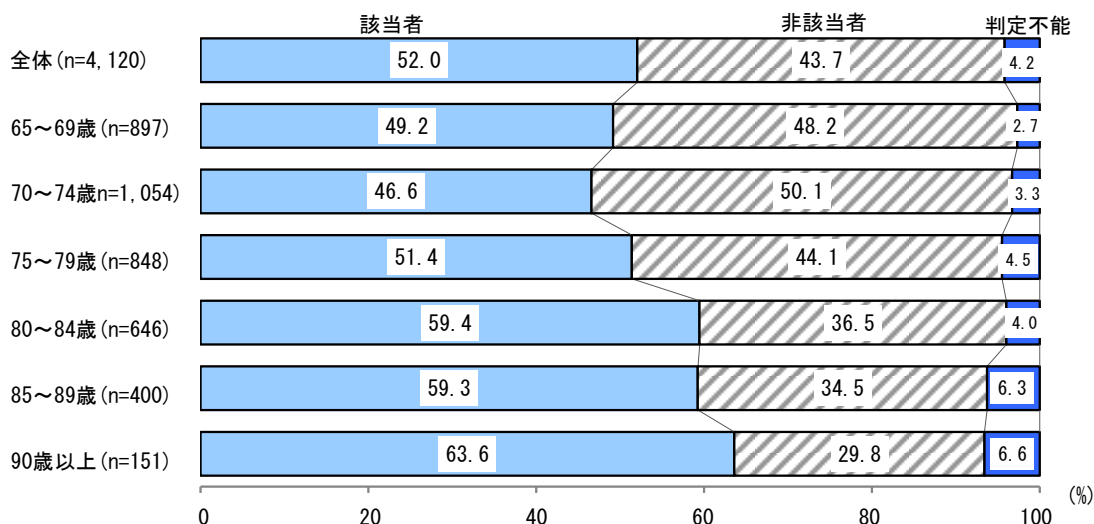
\* リスク評価 (上記の1問以上に該当すれば、認知機能の低下リスクあり該当者)

□性別



問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)		
			全体	男性	女性
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	「はい」	43.6	43.5	44.0
問4 (2)	自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか	「いいえ」	6.4	8.8	4.7
問4 (3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」	22.9	26.0	20.7

## □年齢別



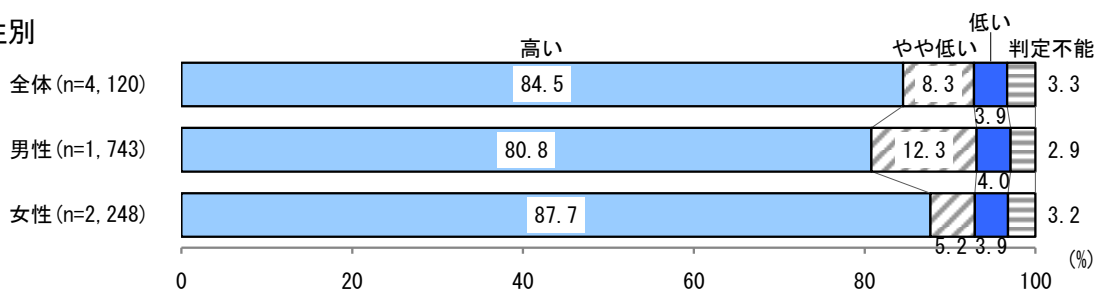
問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	「はい」	43.6	38.6	37.7	44.7	52.6	51.0	53.6
問4(2)	自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか	「いいえ」	6.4	8.6	6.2	4.0	5.0	7.8	13.2
問4(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」	22.9	19.7	20.3	23.1	24.8	30.8	33.1

## (2) 手段的自立度

- 日常生活の基本的な動作の中でも、より高度な運動や記憶力を必要とされる動作について独力でできる能力は、性別では女性に比べ男性でやや低い傾向がみられます。
- 年齢別では、85～89歳の年代を境に一気に低下する傾向がみられます。

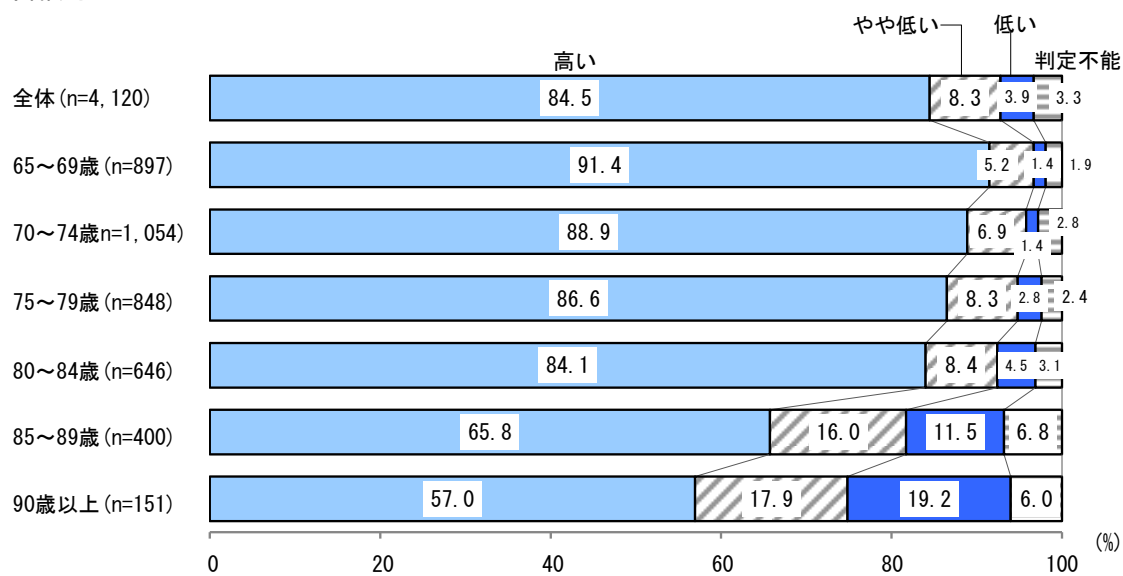
\*手段的自立度の程度（日常生活の基本的な動作の中でも、より高度な運動や記憶力を必要とされる動作について独力でできる能力の程度）

## □性別



問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)		
			全体	男性	女性
問4(4)	バスや電車を使って一人で外出していますか	「できるし、している」「できるけどしていない」	91.3	94.7	89.1
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」「できるけどしていない」	94.8	95.5	94.9
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」「できるけどしていない」	91.0	85.0	96.2
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」「できるけどしていない」	95.3	94.8	96.1
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」「できるけどしていない」	94.5	93.6	95.6

□年齢別

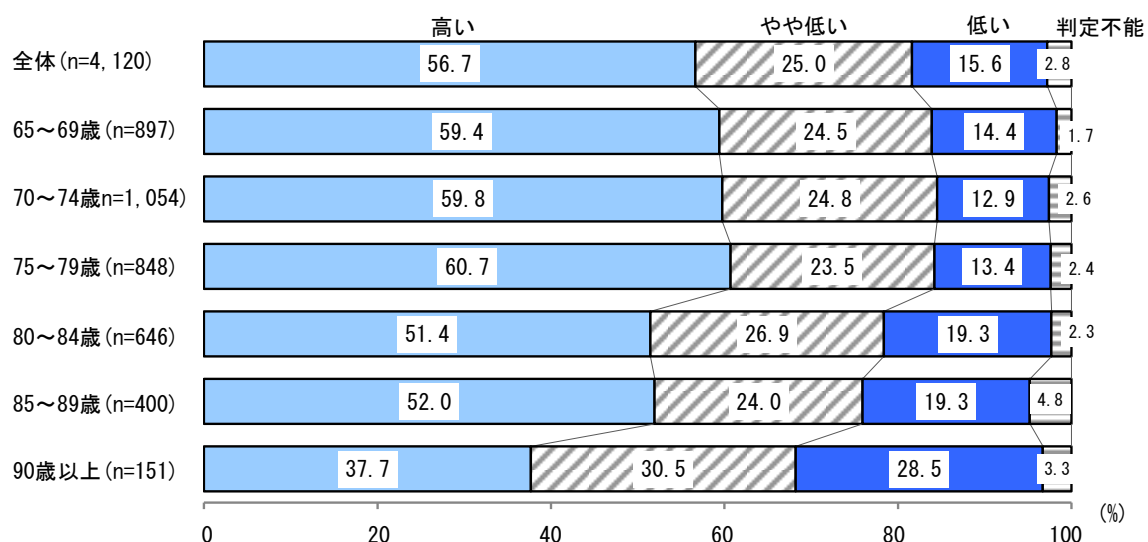


問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
問4(4)	バスや電車を使って一人で外出していますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」	91.3	97.0	95.8	94.5	90.1	75.3	62.3
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」	94.8	97.6	96.6	97.1	94.9	86.8	82.1
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」	91.0	93.6	92.2	91.4	92.9	83.3	84.7
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」	95.3	97.1	96.3	95.5	96.2	90.0	91.4
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」	94.5	96.7	95.6	96.0	94.7	88.3	88.1

### (3) 知的能動性

- ・ 知的能動性の程度について、年齢別では、80～84歳の年代を境に低下する傾向がみられます。
- ・ 性別では、男女とも「高い」割合が5割を超え、女性に比べ男性の割合がやや低くなっています。（男性53.2%、女性59.8%）（※性別のグラフ表示は省略しています。）

\* 知的能動性の程度（日常生活の中で、情報を自ら収集して表現することや創作、余暇活動などの知的な活動を行うことができる能力の程度）



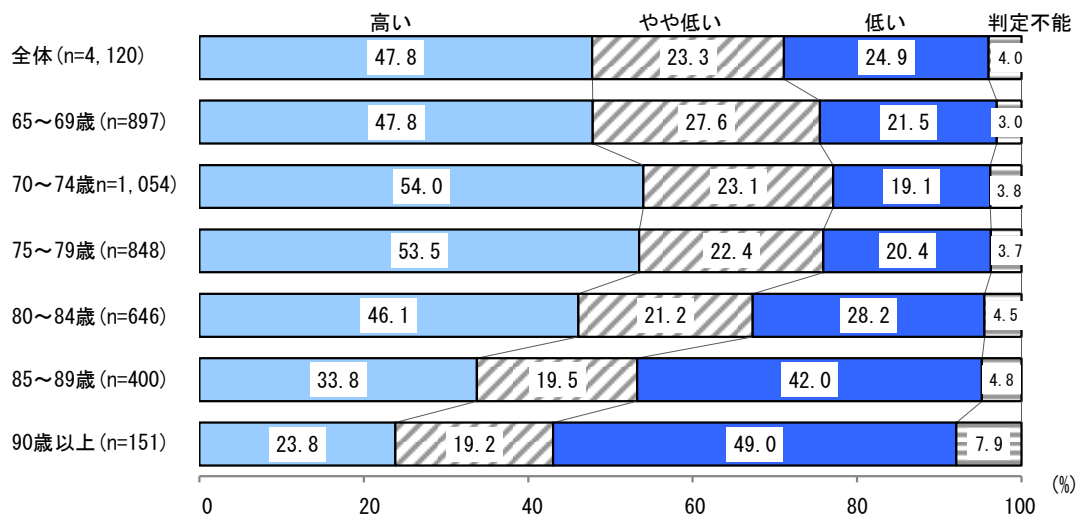
問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
問4(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「はい」	89.5	94.4	92.9	91.7	86.7	79.3	65.6
問4(10)	新聞を読んでいますか	「はい」	85.1	82.7	86.6	88.3	85.4	83.8	82.8
問4(11)	本や雑誌を読んでいますか	「はい」	68.9	74.8	72.7	69.2	61.0	63.3	58.3
問4(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	「はい」	87.7	86.2	87.2	89.6	87.5	91.0	84.8



#### (4) 社会的役割

- 社会的役割や他者との関わりの能力の程度について、年齢別では、80～84歳の年代を境に低下する傾向がみられます。
- 性別では、「高い」割合は女性（53.9%）に比べ男性（40.8%）のほうが低く、10ポイント以上の差となっています。（※性別のグラフ表示は省略しています。）

\* 社会的役割や他者との関わりの程度（日常生活の中で、人を思いやる、相談にのる、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したり他の世代との積極的な交流などを行う能力の程度）

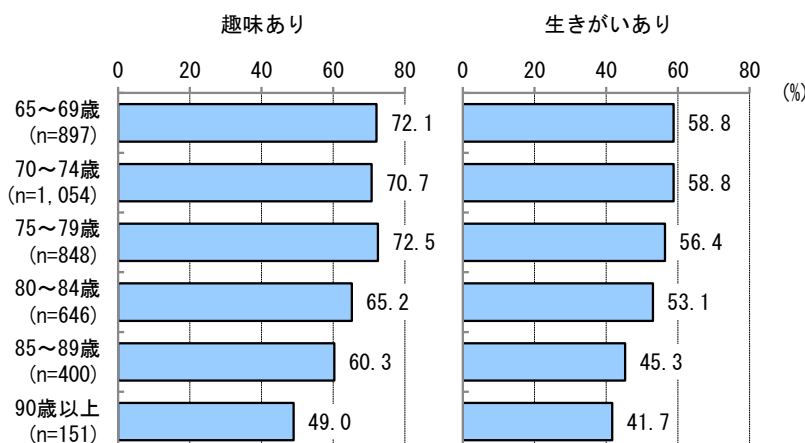


問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
問4 (13)	友人の家を訪ねていますか	「はい」	59.5	56.1	64.2	64.7	61.3	49.8	39.1
問4 (14)	家族や友人の相談にのっていますか	「はい」	73.6	79.5	79.4	76.3	68.3	58.5	47.0
問4 (15)	病人を見舞うことができますか	「はい」	87.2	92.6	91.5	90.8	83.4	72.3	62.3
問4 (16)	若い人に自分から話しかけることができますか	「はい」	77.7	79.7	80.6	80.4	74.8	67.3	73.5

#### (5) 趣味や生きがいの有無

問4 (17) 趣味はありますか (○は1つ)

問4 (18) 生きがいはありますか (○は1つ)



- 「趣味あり」の割合は、年齢が上がるほど概ね低くなっています。また、男女とも7割弱（男性67.2%、女性69.8%）となっています。
- 「生きがいあり」の割合は、年齢が上がるほど低くなっています。また、女性に比べ男性のほうがやや低くなっています。（女性57.9%、男性52.0%）  
（※性別のグラフは省略しています。）

## 7 地域での活動について

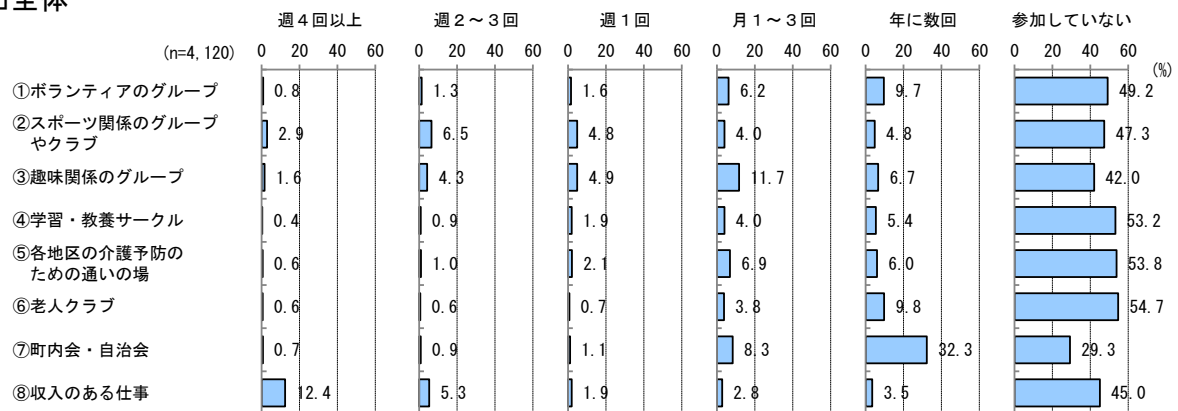
### (1) 会・グループへの参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

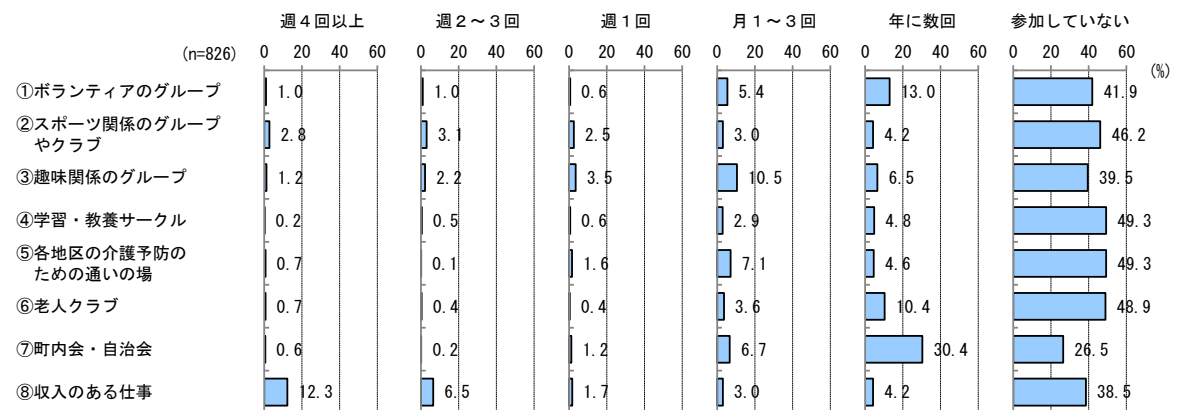
※①～⑧のそれぞれに回答してください(それぞれ〇は1つ)

- ・ 参加している割合が最も高い(参加していない割合が低い)活動は、「⑦町内会・自治会」で、4割以上が参加しています。一方、「④学習・教養サークル」「⑤各地区の介護予防のための通いの場」「⑥老人クラブ」は、「参加していない」が5割を超えています。
- ・ 「参加していない」割合は、「⑦町内会・自治会」「⑧収入のある仕事」を除く活動では、女性に比べ男性のほうが高くなっています。
- ・ 圏域別では、グループ活動等の状況に大きな違いはありません。

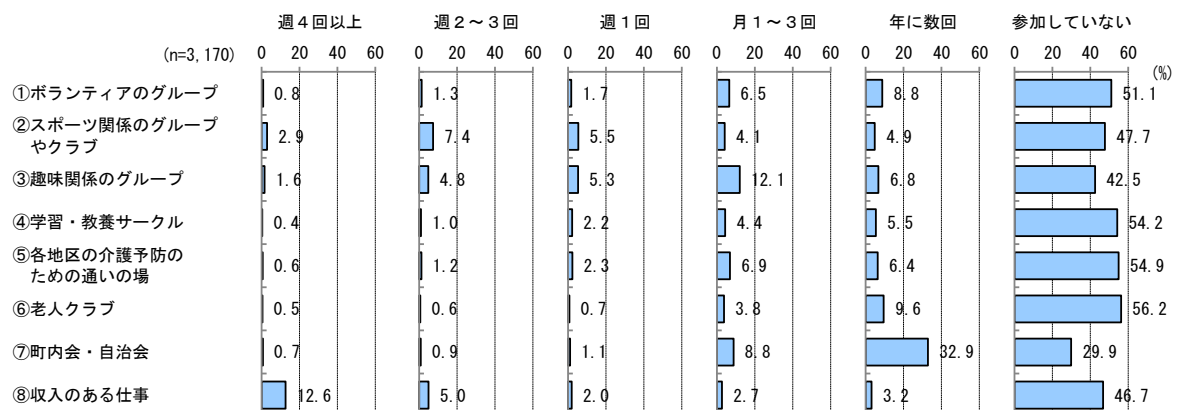
#### □全体



#### □日常生活圏域別—北部圏域



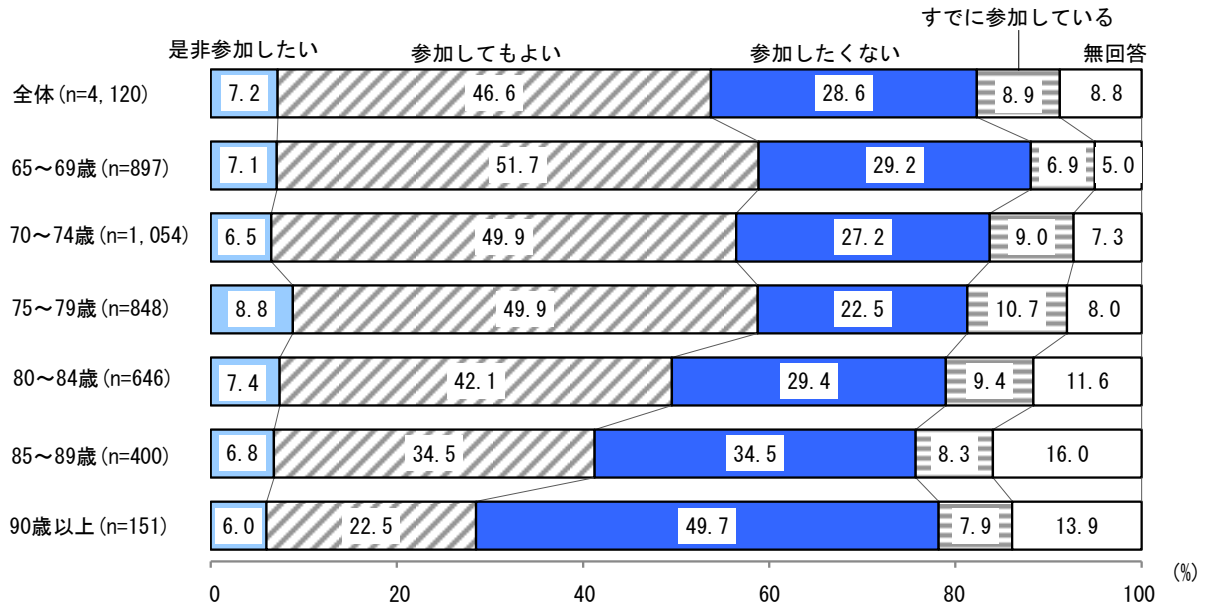
#### □日常生活圏域別—南部圏域



## (2) 地域づくり活動の参加者としての参加意向

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

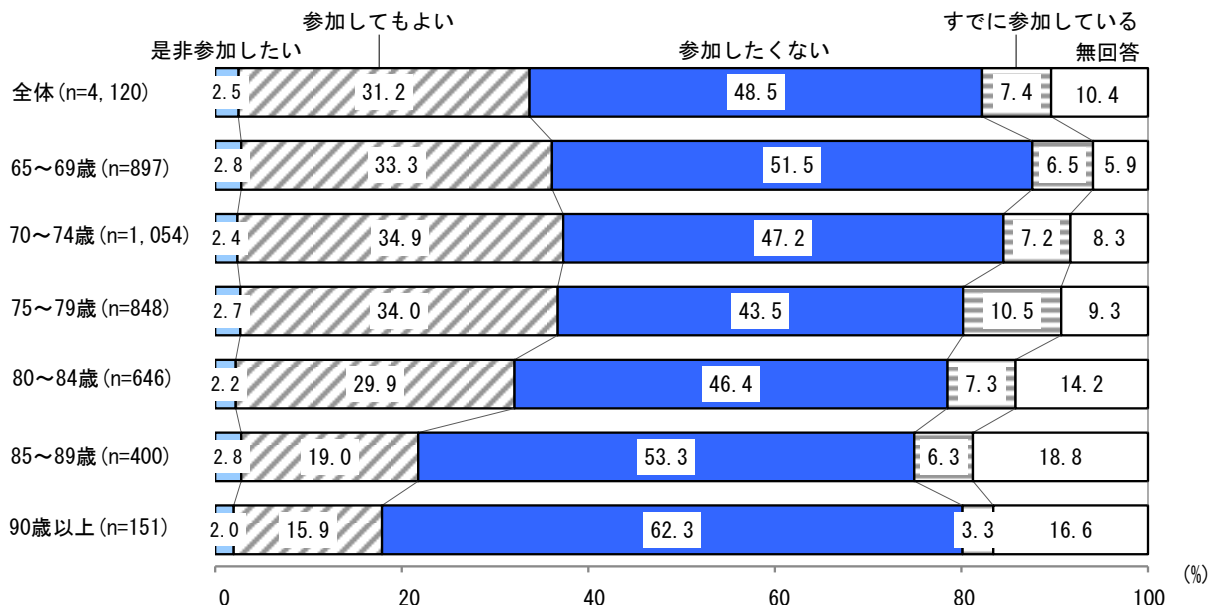
- 「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加したい』割合は、79歳以下では過半数を占めています。



## (3) 地域づくり活動の企画・運営としての参加意向

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

- 「参加してもよい」割合は、概ね年齢が上がるほど低くなっています。
- 「すでに参加している」割合は、75~79歳が10.5%で最も高くなっています。



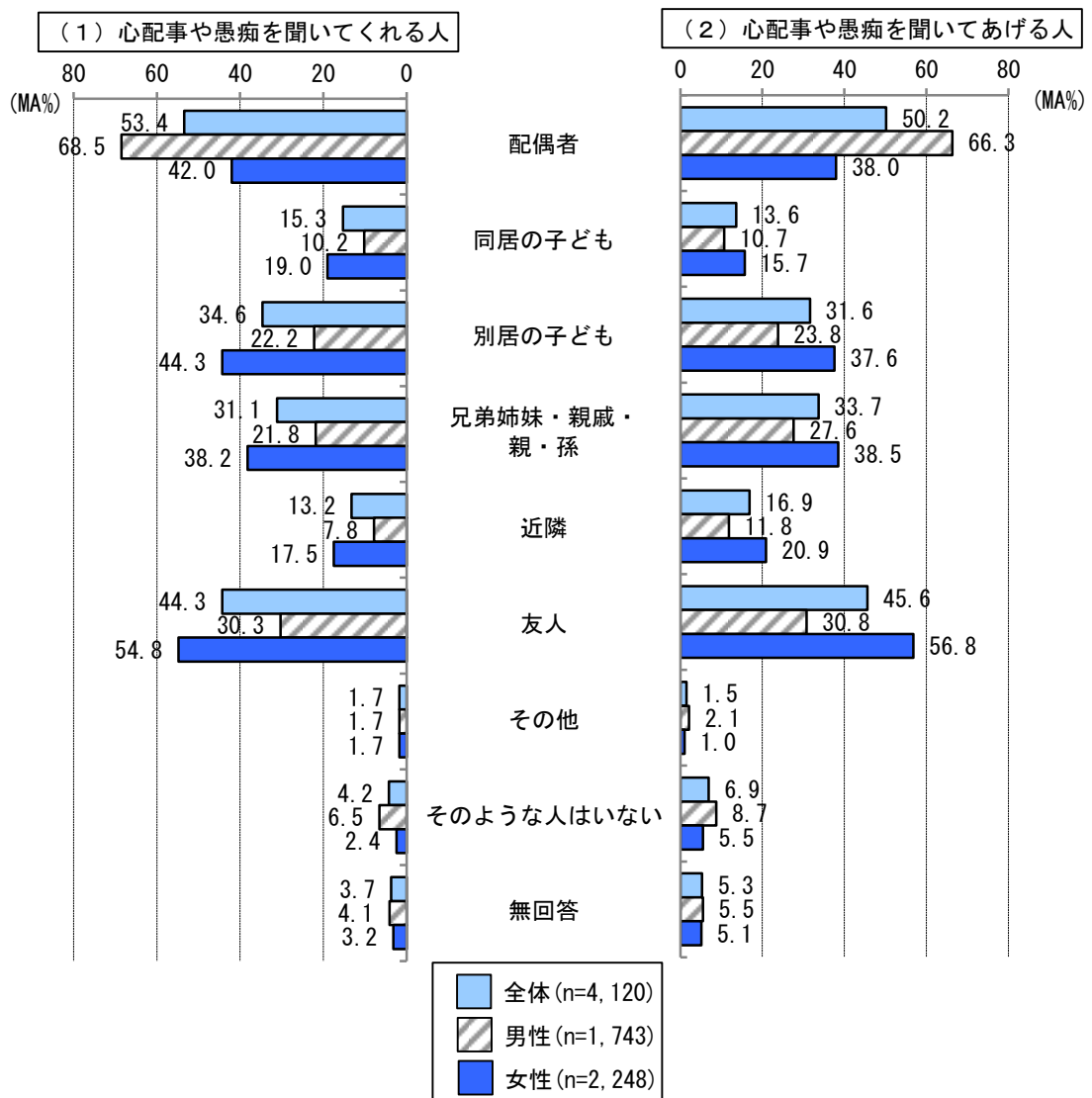
## 8 たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(〇はいくつでも)

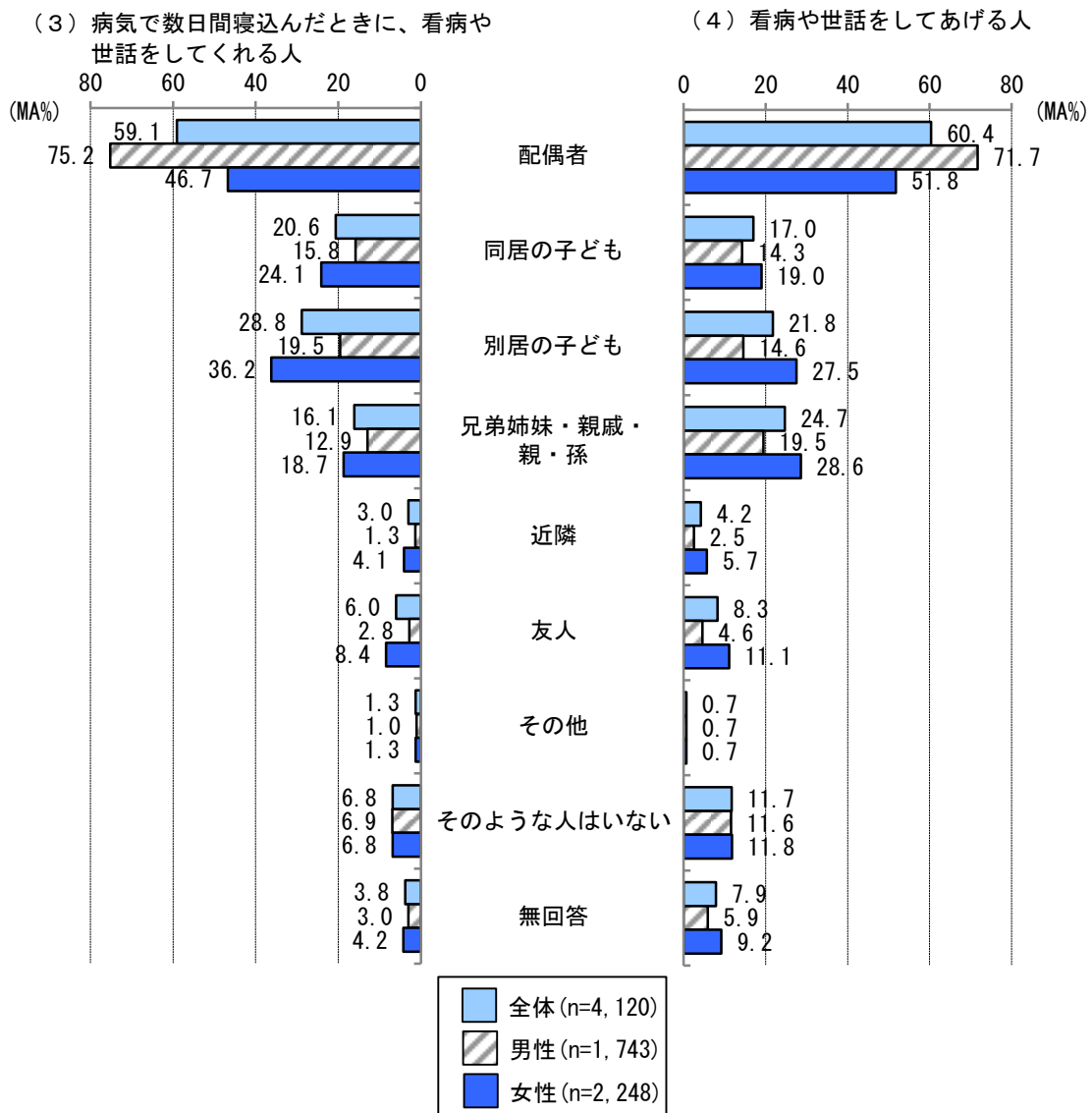
- ・ 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人とも、「配偶者」は男性の割合が高くなっています。
- ・ 一方、女性は、「友人」や「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」の割合が高くなっています。



(2) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人・看病や世話をしてくれる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)  
 問6 (4) 反対に、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)

- ・ 看病や世話をしてくれる人、してあげる人とも、「配偶者」の割合は男性で高くなっています。
- ・ 一方、女性は、「別居の子ども」や「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などの割合が高くなっています。

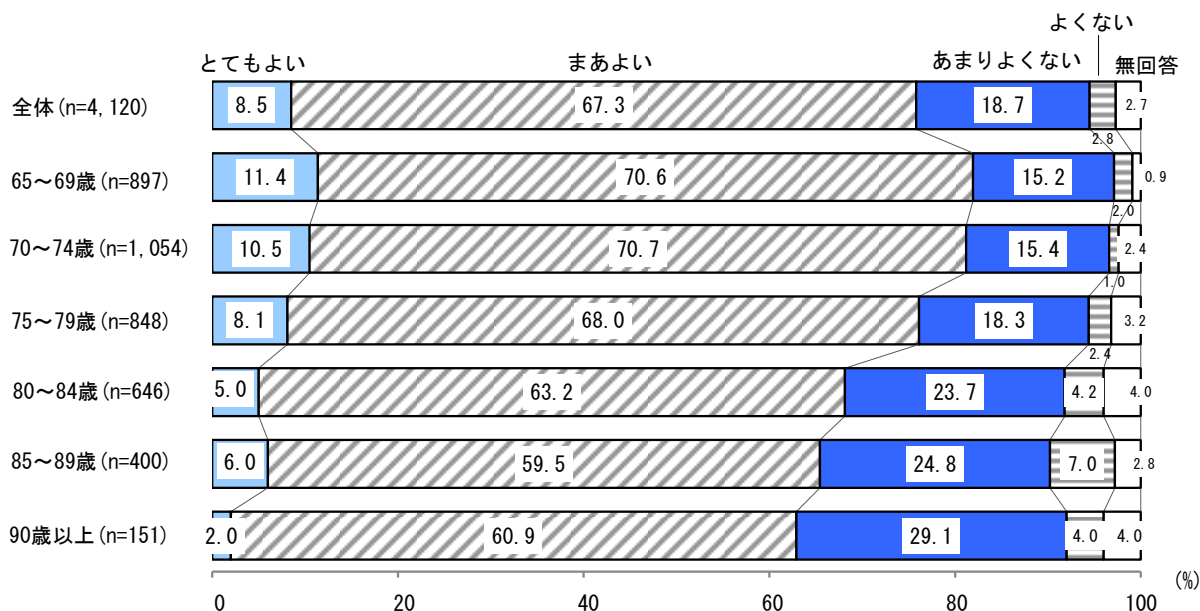


## 9 健康について

### (1) 主観的健康観

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

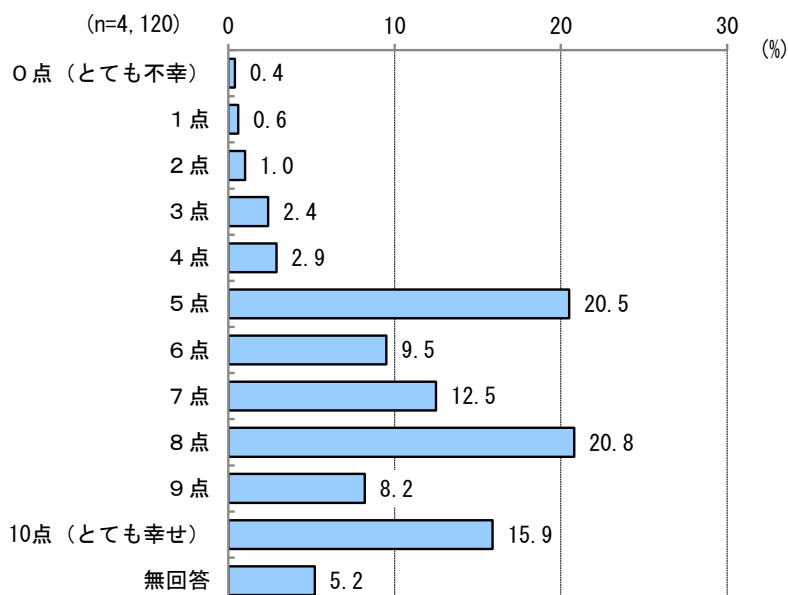
- 「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』割合は加齢ともに低下し、「あまりよくない」の割合が上昇しています。



### (2) 主観的幸福感

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○印を付けてください。○は1つ)

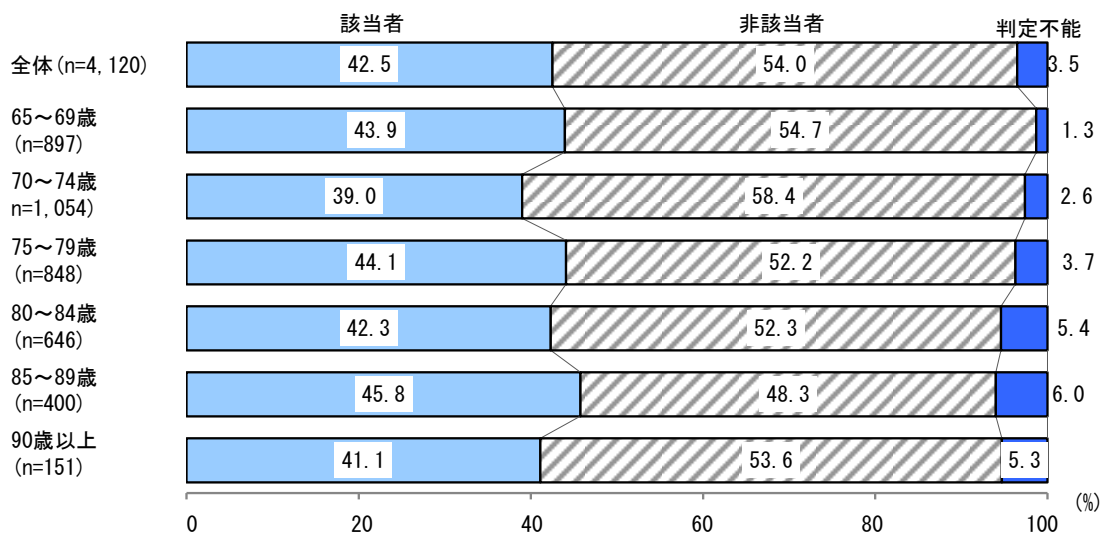
- 全体の平均は 7.1 点で、点数の分布は「5点」と「8点」「10点」の3つの山に分かれています。
- 平均点以下 (6点以下) の点数の累計分布は 37.3%で、幸福を実感していない高齢者は約3人に1人と少なくありません。



### (3) うつ傾向

・どの年代においても4割程度がうつ傾向のリスクありに該当しています。

\* リスク評価（下記の設問のうち1問以上に該当すれば、うつ傾向のリスクあり該当者）



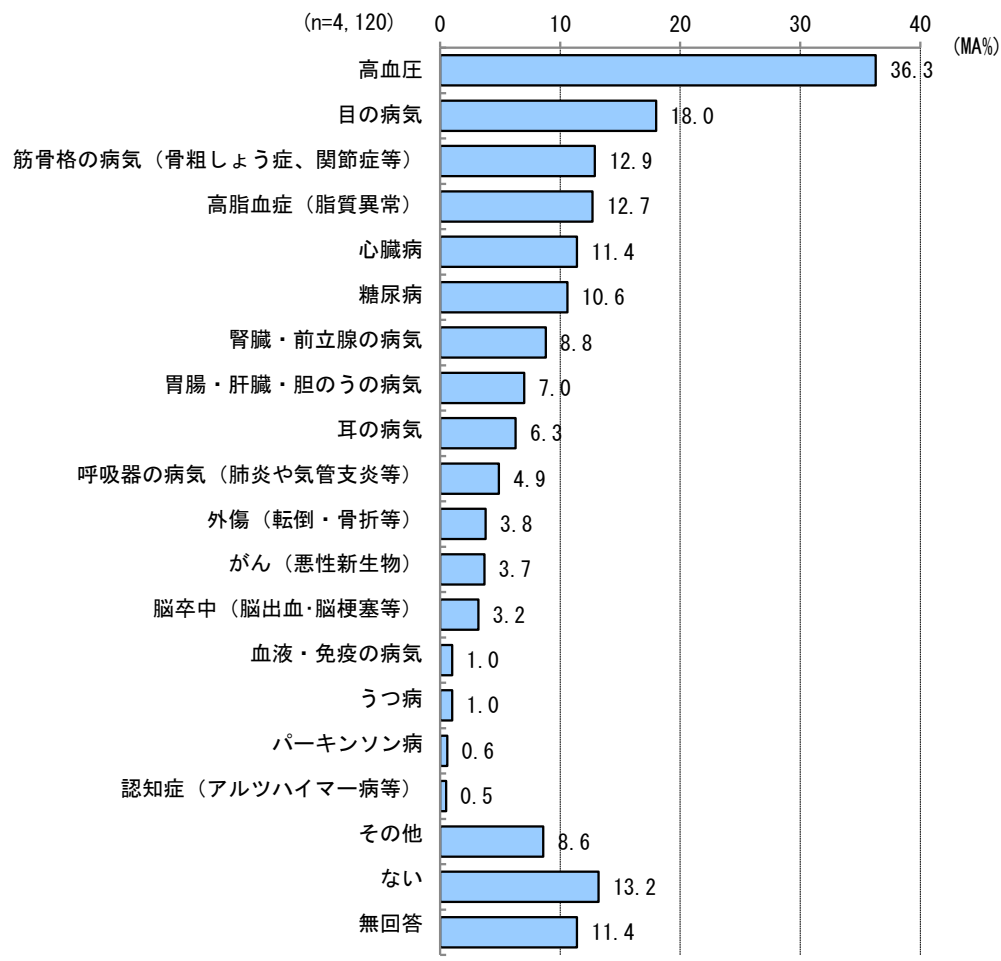
問番号	設問	該当選択肢	割合 (%)						
			全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
問7(3)	この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」	39.3	41.4	36.9	41.2	38.1	40.8	36.4
問7(4)	この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」	24.4	23.6	19.1	25.0	27.7	31.8	29.8

#### (4) 現在治療中、または後遺症のある病気

問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

- ・ 全体では、「高血圧」(36.3%)が最も多く、次いで「目の病気」(18.0%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.9%)となっています。
- ・ 性別では、男女とも「高血圧」が第1位で最も多く、これに次いで男性では「腎臓・前立腺の病気」「目の病気」が、女性では「筋骨格系の病気(骨粗しょう症、関節症等)」「目の病気」がそれぞれ続いています。

##### □全体



##### □性別

(上位5疾病・%)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=4,120)	高血圧 36.3	目の病気 18.0	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 12.9	高脂血症 (脂質異常) 12.7	心臓病 11.4
男性 (n=1,743)	高血圧 35.8	腎臓・前立腺の病気 18.0	目の病気 16.0	心臓病 14.9	糖尿病 13.4
女性 (n=2,248)	高血圧 36.8	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 19.6	目の病気 19.6	高脂血症 (脂質異常) 15.5	心臓病 8.6

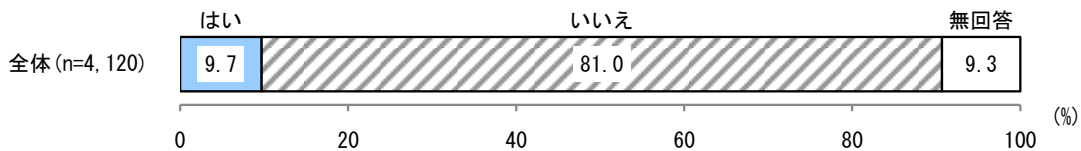


## 10 認知症のことについて

### (1) 自分自身または家族で認知症の症状がある人の有無

問8 (1) 認知症の症状がありますか、または家族に認知症の症状がある人がいますか

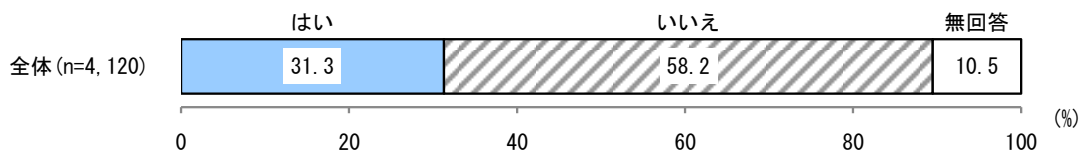
- ・ 自分自身または家族に認知症の症状がある人がいる（「はい」）が 9.7%に対し、いない（「いいえ」）は 81.0%となっています。



### (2) 認知症に関する相談窓口の認知状況

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

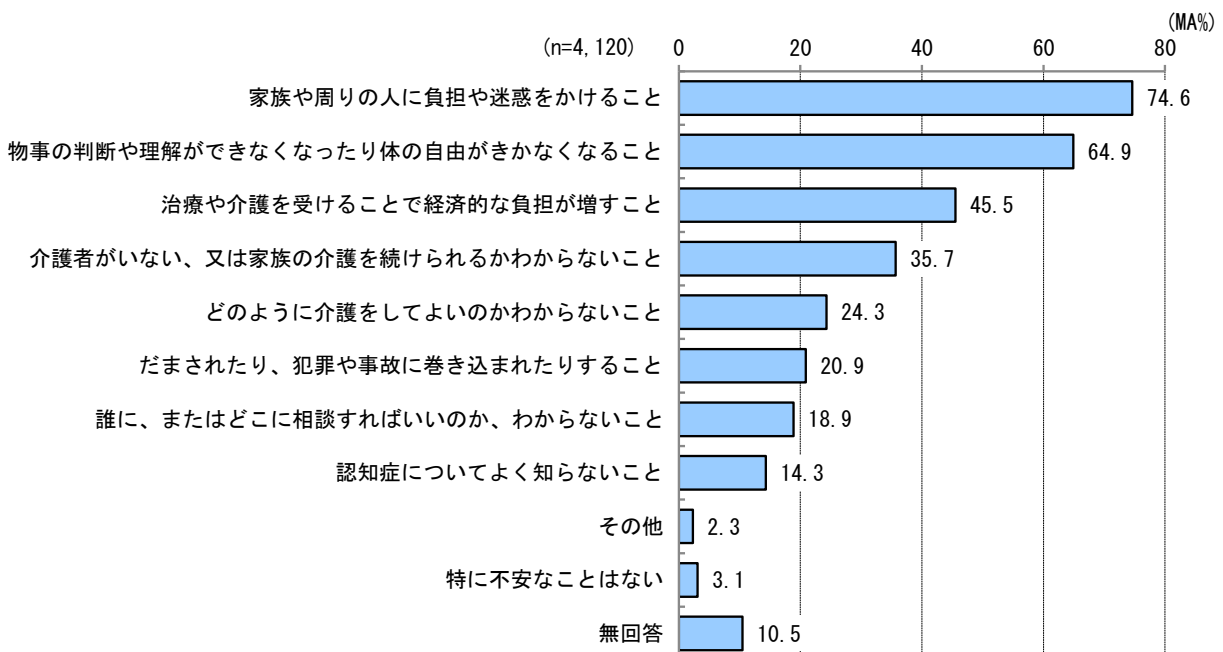
- ・ 認知症に関する相談窓口を知っている（「はい」）が 31.3%に対し、知らない（「いいえ」）は 58.2%となっています。



### (3) 自分自身や家族が認知症になったときに不安なこと

問8 (3) あなたやあなたの家族が認知症になったとき、不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「家族や周りの人に負担や迷惑をかけること」(74.6%)が最も多く、次いで「物事の判断や理解ができなくなったり体の自由がきかなくなること」(64.9%)となっています。

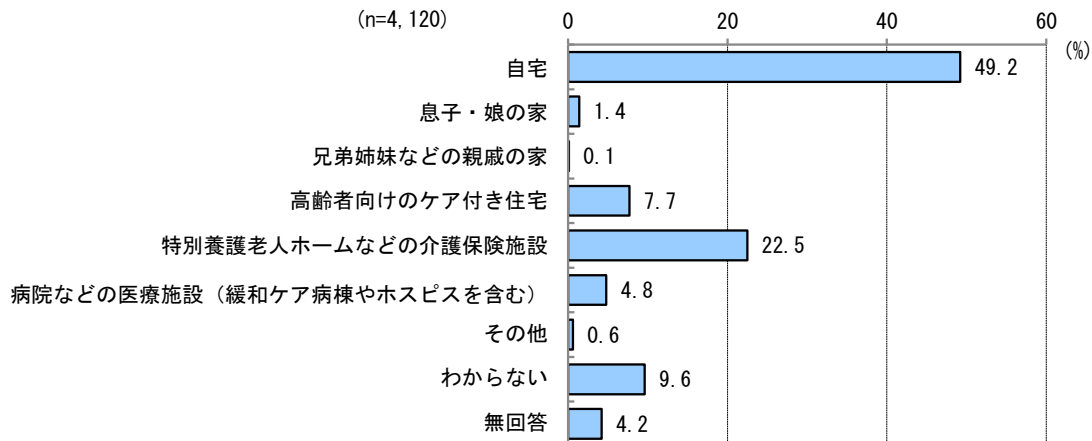


## 11 これからの生活について

### (1) 介護が必要になったときに暮らしたい場所

問9 (1) 仮に介護が必要になったとき、どこで暮らしたいと思いますか (〇は1つ)

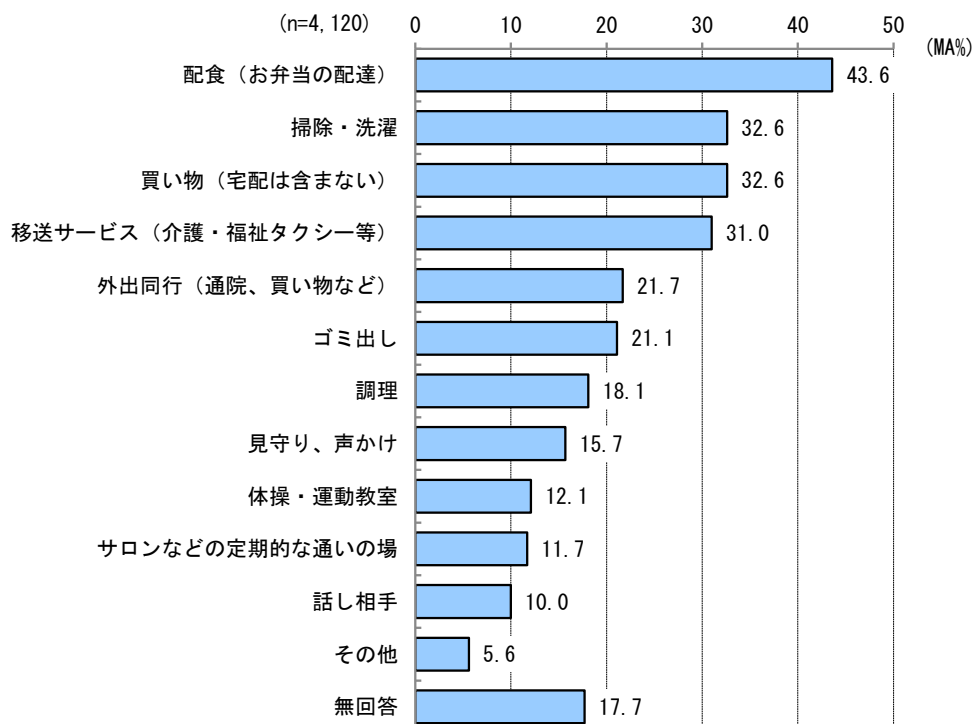
- ・ 「自宅」が最も多く、これに次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」となっています。



### (2) 在宅生活を続けるうえで今後利用したいサービスや取組

問9 (2) 在宅生活を続けるうえで、今後利用したいと思うサービス・取組は何ですか (〇はいくつでも)

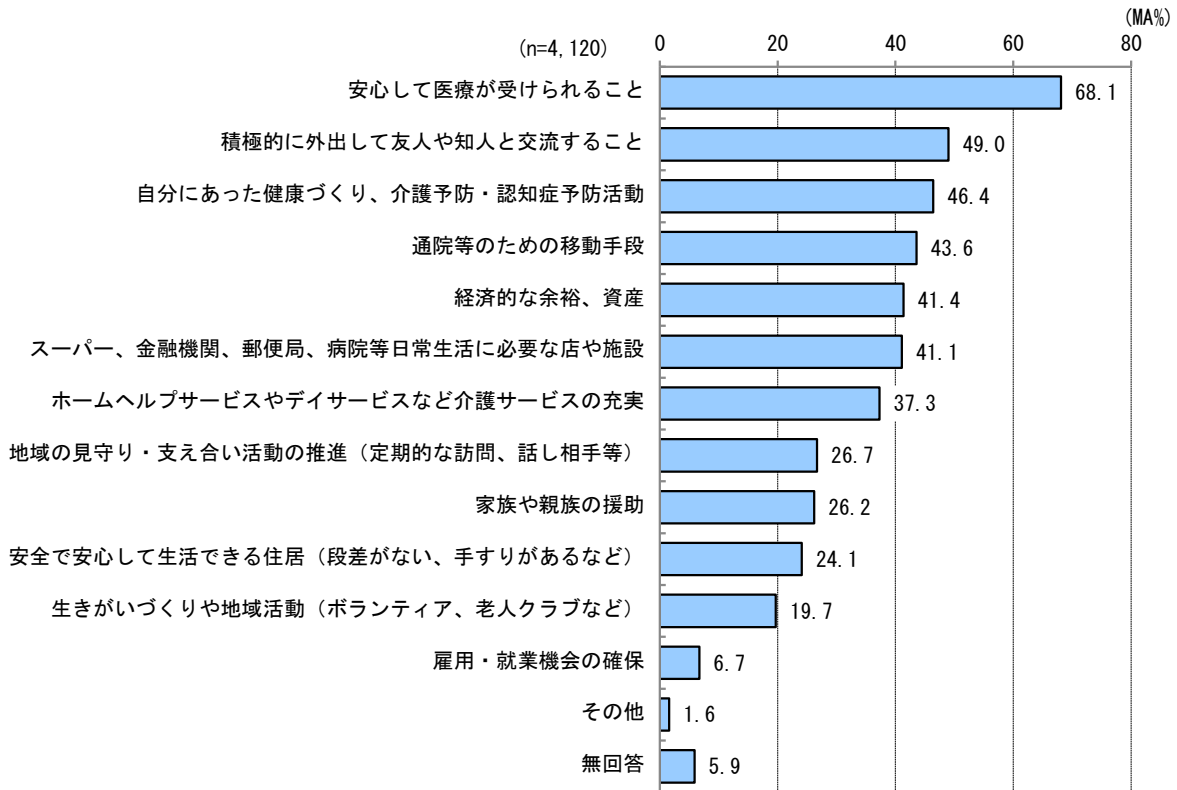
- ・ 「配食 (お弁当の配達)」「掃除・洗濯」「買い物 (宅配は含まない)」「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が多くなっています。
- ・ 圏域別でも、利用したいサービスや取組の傾向に大きな違いはありません。



### (3) 住み慣れた地域で安心して過ごすために必要なこと

問9 (3) 住み慣れた地域で、いつまでも安心して過ごすには何が必要だと思いますか  
(〇はいくつでも)

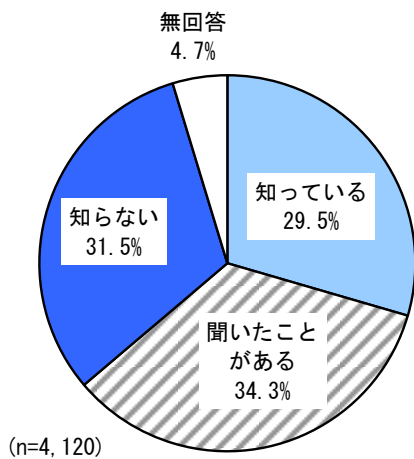
- ・ 「安心して医療が受けられること」「積極的に外出して友人や知人と交流すること」「自分にあつた健康づくり、介護予防・認知症予防活動」などが多くなっています。
- ・ 圏域別でも、高齢者のニーズの傾向に大きな違いはありません。



## 12 成年後見制度について

### (1) 成年後見制度の認知度

問10 (1) あなたは、高齢者の権利を守る制度の一つである「成年後見制度」を知っていますか (〇は1つ)

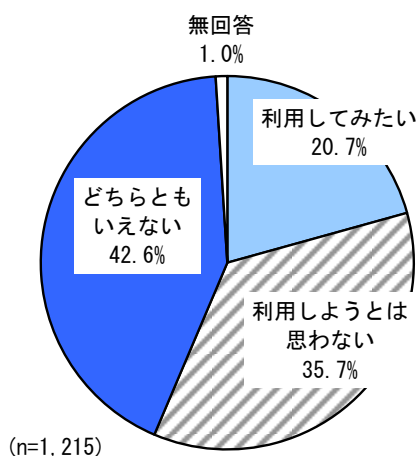


- ・ 成年後見制度を「知っている」割合は29.5%に対し、「知らない」が31.5%となっています。
- ・ 「聞いたことがある」が34.3%となっており、言葉自体は広がってきています。

## (2) 自身や家族の判断能力が衰えたときに成年後見制度を利用したいか

問10 (2) 【(1) で「1. 知っている」に○をした方のみ】

あなたやあなたの家族が、認知症などで判断能力が衰えたときに、成年後見制度を利用してみたいと思いますか (○は1つ)



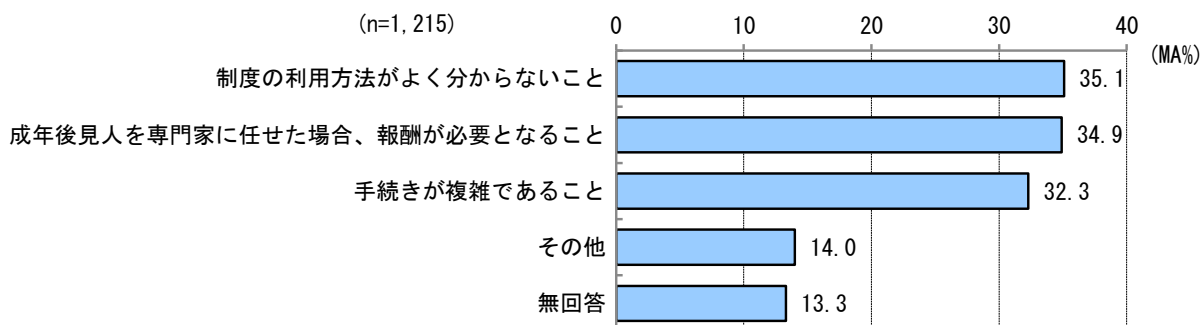
- ・ 「どちらともいえない」が多くなっています。
- ・ 一方、「利用してみたい」が 20.7%に対し、「利用しようとは思わない」は 35.7%となっています。

## (3) 成年後見制度の利用にあたり問題となること

問10 (3) 【(1) で「1. 知っている」に○をした方のみ】

成年後見制度を利用するにあたって問題となることは何ですか (○はいくつでも)

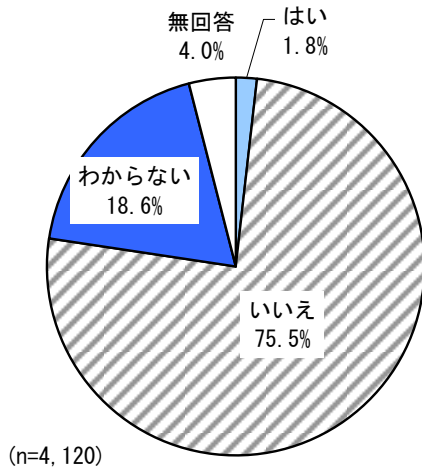
- ・ 「制度の利用方法がよく分からないこと」「成年後見人を専門家に任せた場合、報酬が必要となること」「手続きが複雑であること」などが多くなっています。



## 13 延命治療について

### (1) 延命治療の希望有無

問11 (1) 将来、治る見込みがなく死期が迫っている（6か月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命治療を望みますか（○は1つ）



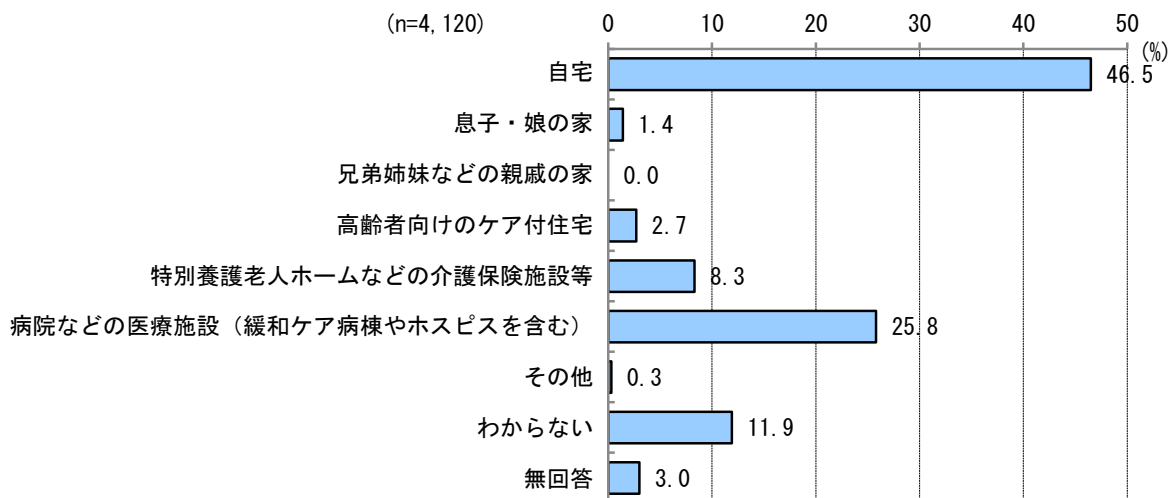
・ 延命治療を望む（「はい」）は 1.8% に対し、望まない（「いいえ」）が 75.5% となっています。

◎希望する延命治療の内容（上位3項目）  
 第1位「点滴による水分補給」  
 第2位「人工呼吸器の使用」  
 第3位「心肺蘇生（心臓マッサージなど）」

### (2) 希望する療養生活の場所

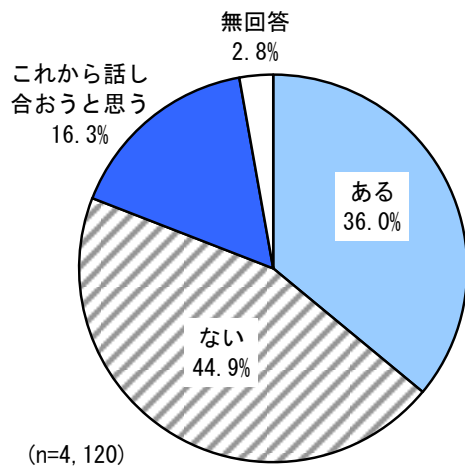
問11 (3) 将来、治る見込みがなく死期が迫っている（6か月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、どこで療養生活を望みますか（○は1つ）

・ 「自宅」（46.5%）で最も多く、次いで「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピスを含む）」（25.8%）となっています。



### (3) 延命治療についての話し合いを家族としたことの有無

問11 (4) 延命治療について家族と話し合ったことはありますか (○は1つ)

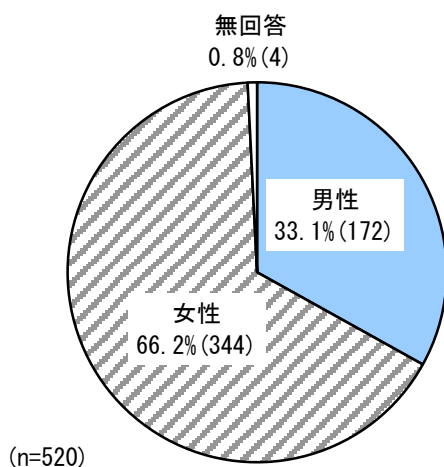


- ・ 家族と話し合いをしたことが「ある」が36.0%、「ない」が44.9%となっています。

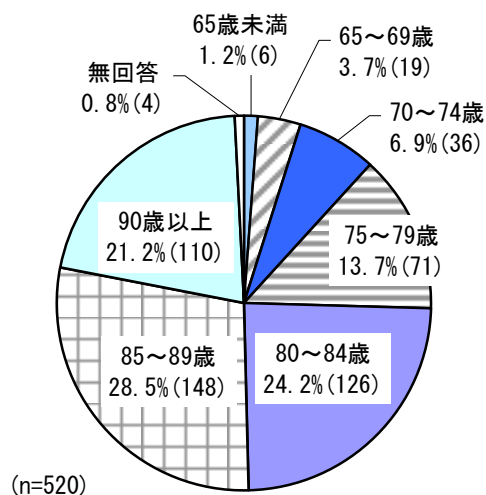
## Ⅱ 在宅介護実態調査の結果概要

### 1 回答者本人の基本属性

(1) 性別

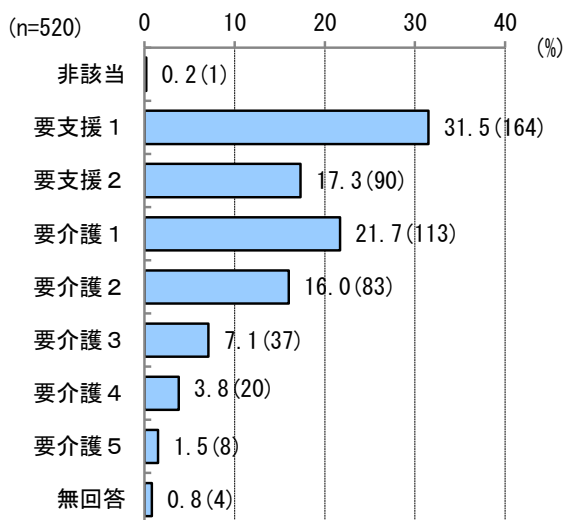


(2) 年齢構成

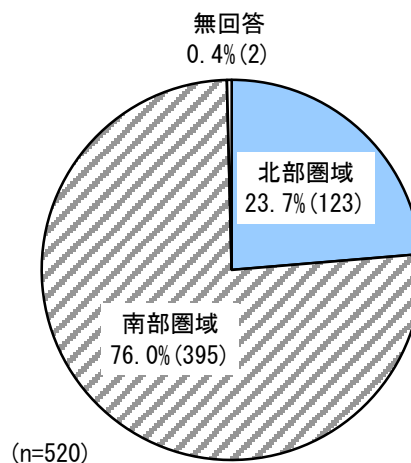


※カッコ内は回答者数

(3) 要介護度



(4) 居住圏域



※カッコ内は回答者数

※ここからの調査結果の一部については、国から提供された「自動集計分析ソフト」による集計値を引用しており、その値は、n数から無回答を除いた人数で集計を行っているため、分析項目によっては、他とn数が異なっている場合があります。

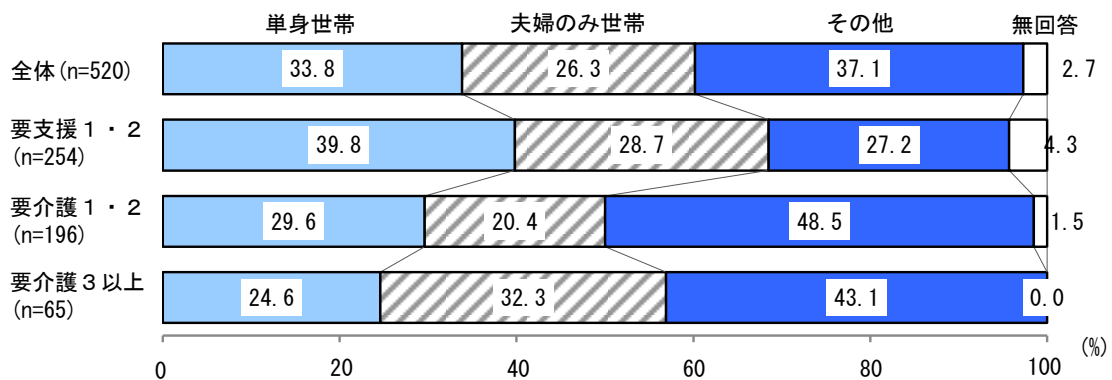
## 2 家族や親族による介護の状況とサービス・支援に対するニーズ

### (1) 世帯類型

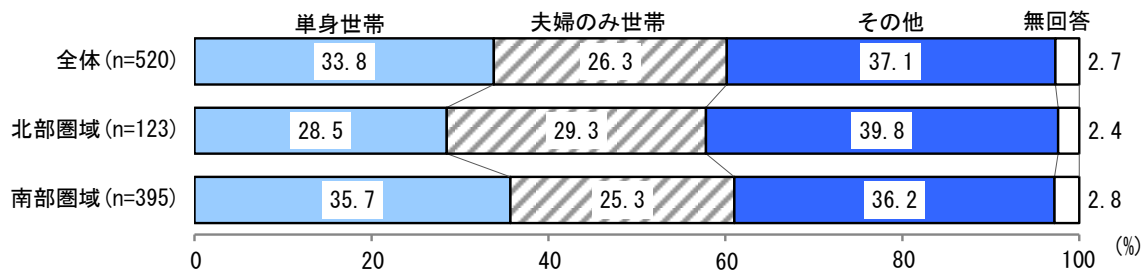
A票・問1 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・ 全体では、「単身世帯」が33.8%、夫婦のみ世帯が26.3%となっていますが、その他の世帯が37.1%と最も多くなっています。
- ・ 要介護度別では、「単身世帯」の割合は要支援1・2(39.8%)が、「夫婦のみ世帯」の割合は要介護3以上(32.3%)で、最も高くなっています。
- ・ 圏域別では、「単身世帯」の割合は南部圏域のほうが7.2ポイント高くなっています。

#### □要介護度別



#### □圏域別



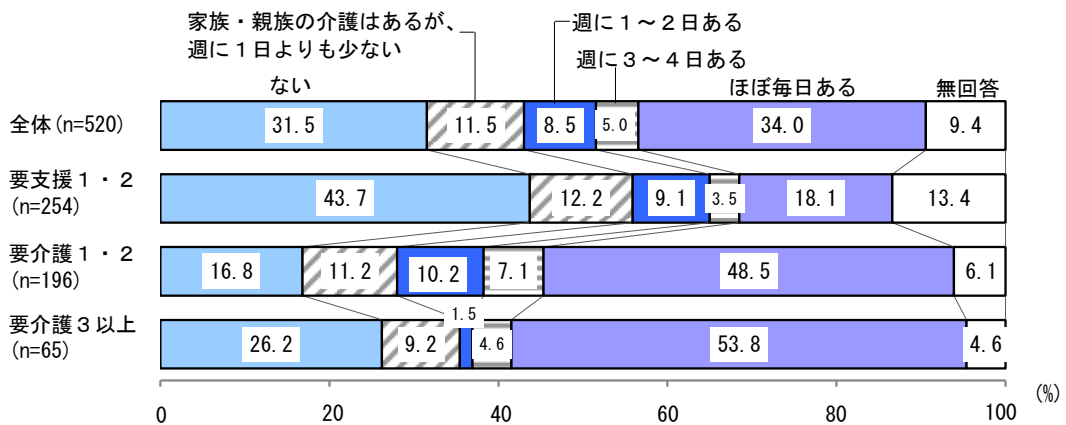


## (2) 家族や親族による介護の頻度

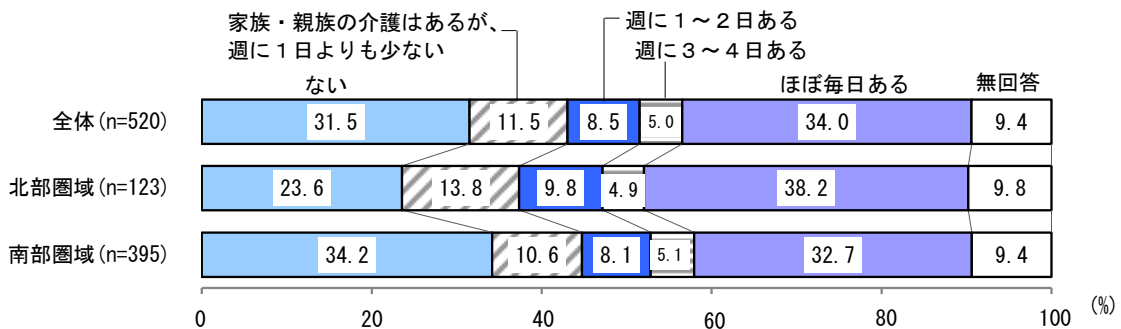
A票・問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- ・ 全体では、「ほぼ毎日ある」(34.0%)で最も多い一方で、「ない」(31.5%)も3割となっています。
- ・ 「ほぼ毎日ある」の割合は、要介護度が重いほど高く、要介護3以上では53.8%となっています。一方「ない」割合は要支援1・2で43.7%と最も高くなっています。
- ・ 圏域別では、北部圏域では「ほぼ毎日ある」の割合が、南部圏域では「ない」の割合が、それぞれ高くなっています。

### □要介護度別



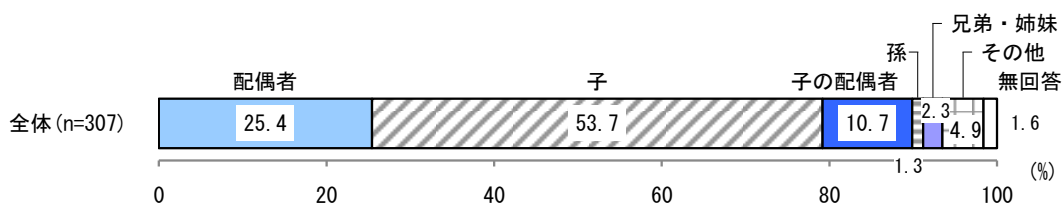
### □圏域別



## (3) 主な介護者

A票・問3 【問2で「ない」以外に○をした方】  
主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

- ・ 介護があると回答した方に主な介護者についてたずねたところ、「子」(53.7%)が最も多く、次いで「配偶者」(25.4%)、「子の配偶者」(10.7%)となっています。

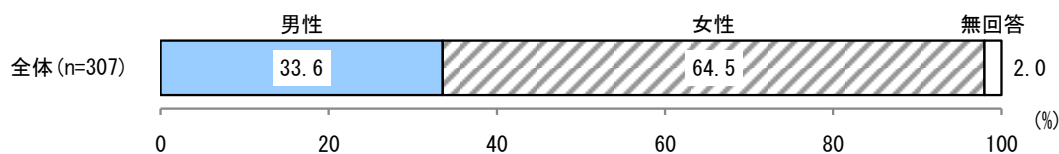


#### (4) 介護者の性別

A票・問4 【問2で「ない」以外に○をした方】

主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・ 「男性」が33.6%に対し「女性」が64.5%となっています。



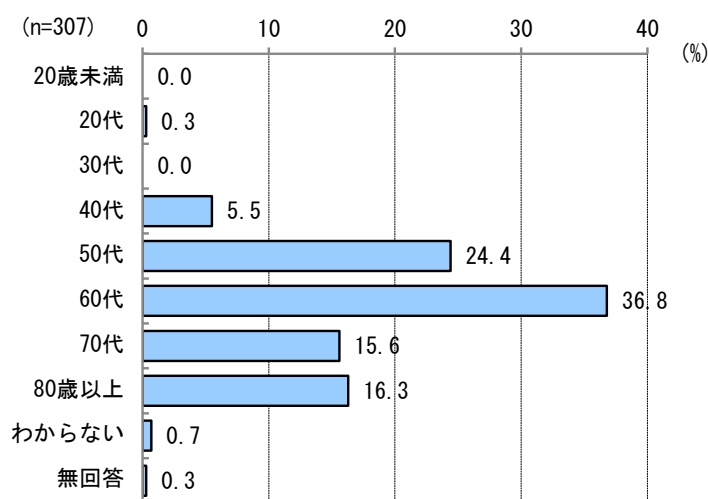
#### (5) 介護者の年齢

A票・問5 【問2で「ない」以外に○をした方】

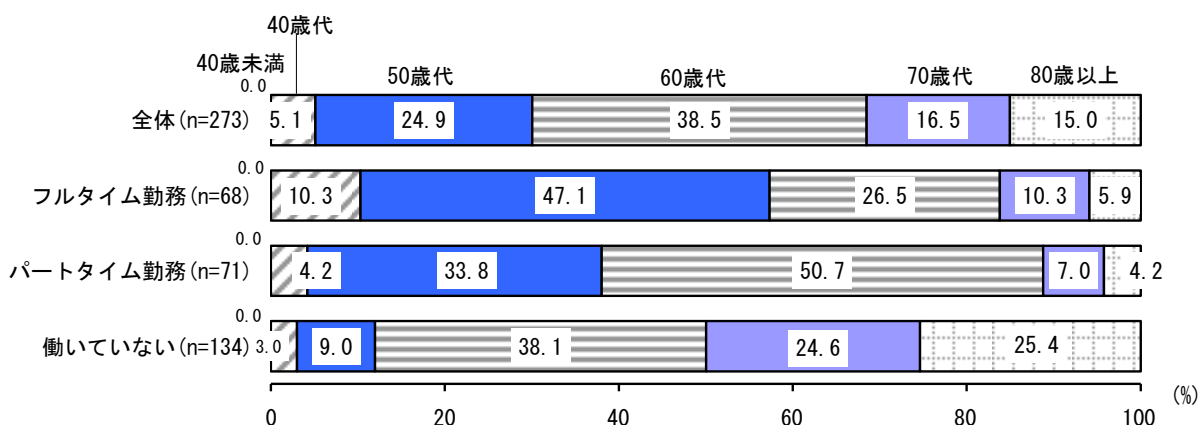
主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・ 「60代」が36.8%で最も多く、次いで「50代」が24.4%、「80歳以上」が16.3%となっています。
- ・ 介護者のうち、フルタイム勤務者では「50代」が47.1%、パートタイム勤務者では「60代」が50.7%と、それぞれ半数前後を占めています。

□全体



□介護者の就労形態別 (自動集計分析ソフトによる集計に基づく)

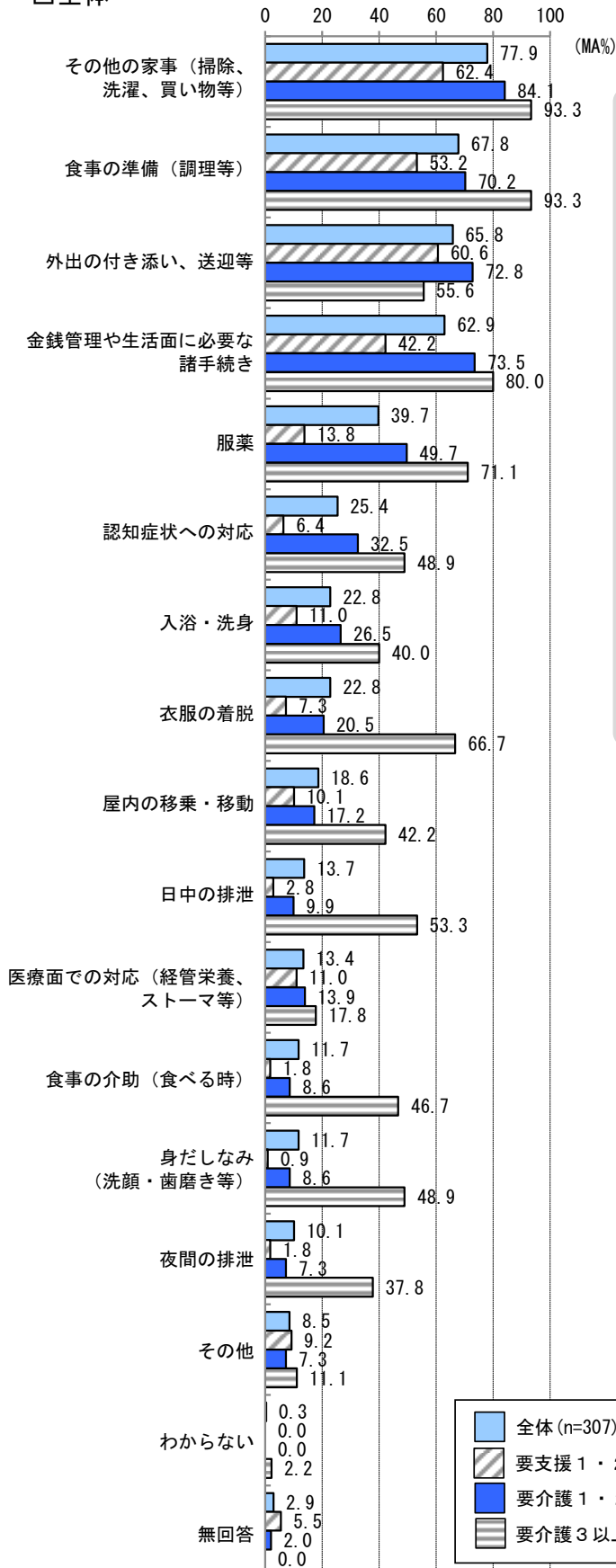


## (6) 介護者が行っている介護等

A票・問6 【問2で「ない」以外に○をした方】

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも選択可)

□全体



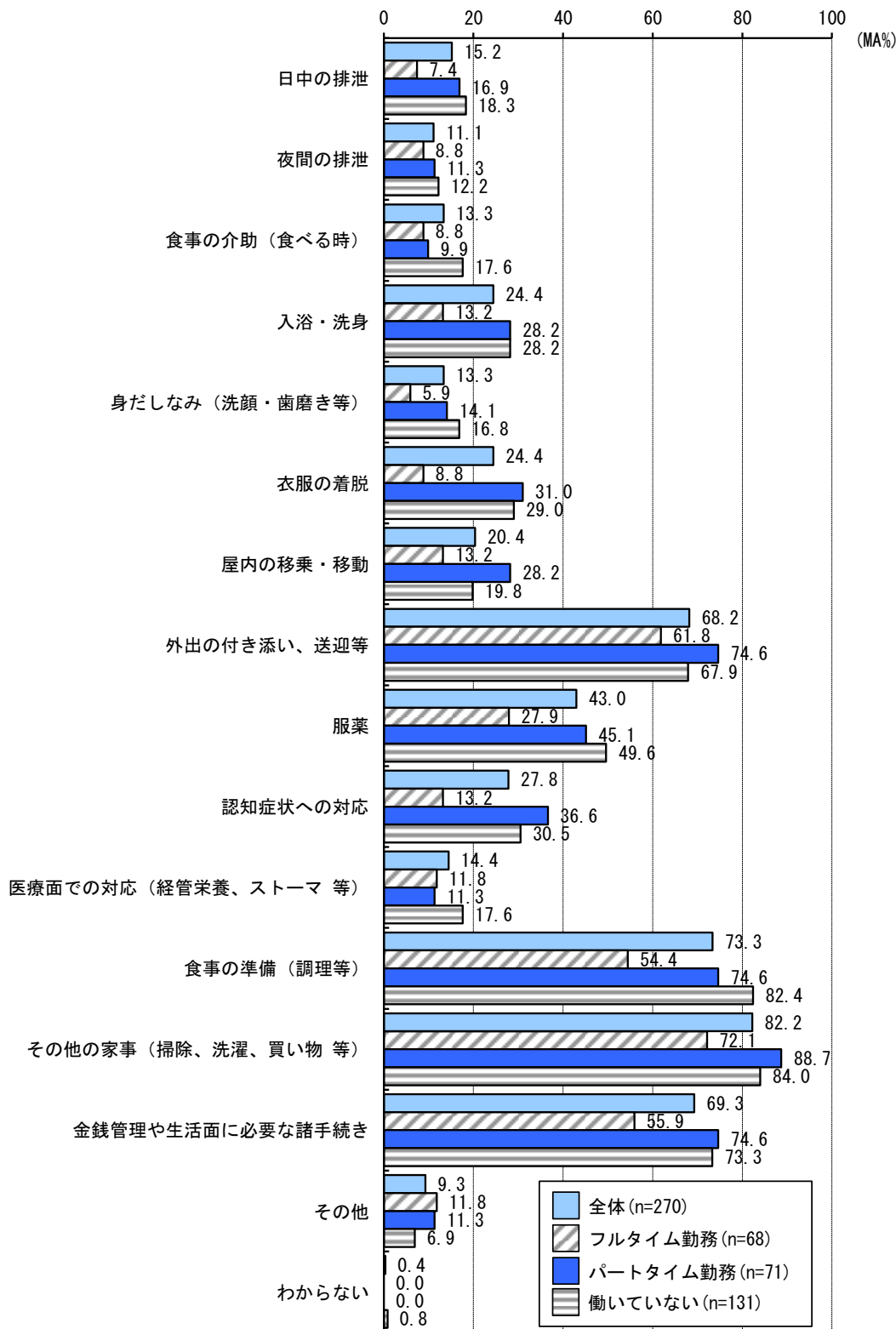
・ 全体では、「その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)」(77.9%) や「食事の準備 (調理等)」(67.8%)、「外出の付き添い、送迎等」(65.8%) が多くなっています。

・ 要介護度別では、いずれも「その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)」が最も多く、また要介護3以上では「食事の準備 (調理等)」も多くなっています。これに次いで要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」が、要介護1・2と要介護3以上では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が多くなっています。

・ 「外出の付き添い、送迎等」を除くすべての項目で、要介護度が上がるほどそれらの割合も高くなっています。

□介護者の就労形態別（自動集計分析ソフトによる集計に基づく）

・ 介護者の就労形態別でみると、就労形態に関係なく「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多くなっています。特にパートタイム勤務者及び未就労者の割合が高くなっています。

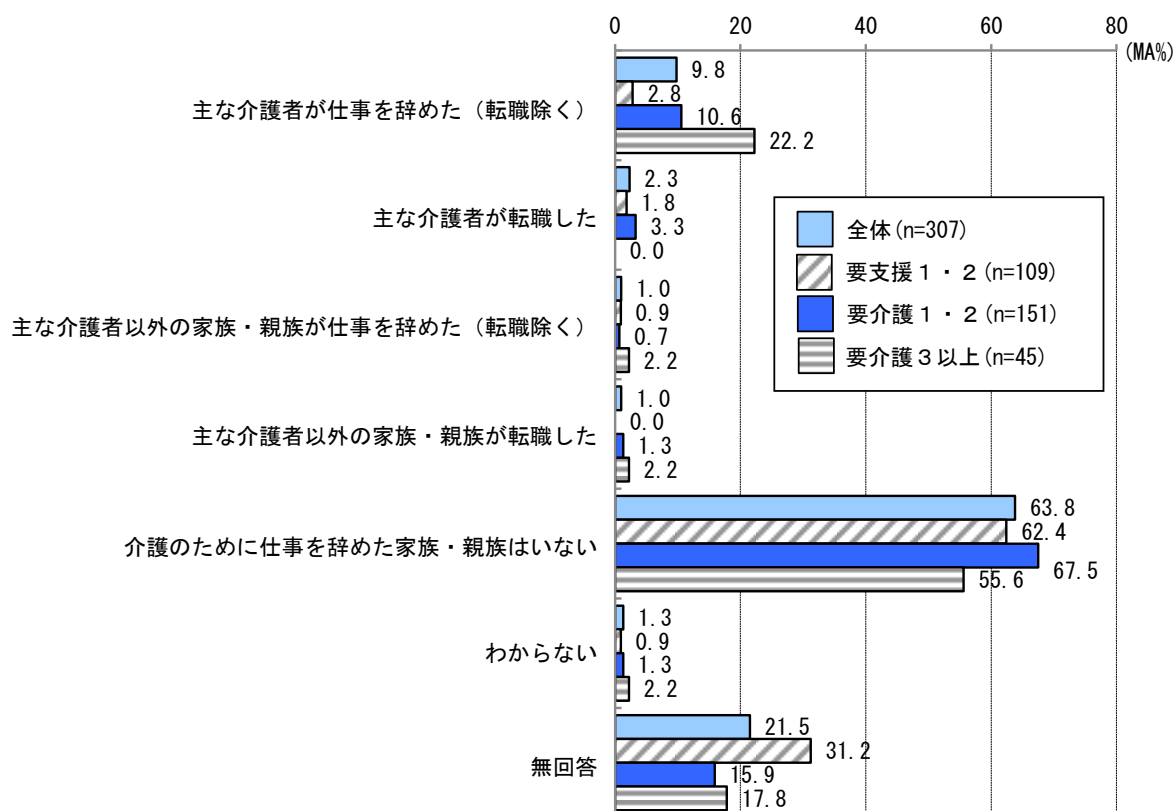


## (7) 介護を理由に仕事を辞めた介護者の有無

### A票・問7 【問2で「ない」以外に○をした方】

ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも選択可）

- ・ 全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.8%で最も多くなっています。
- ・ 「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合は、要介護3以上で22.2%と最も高くなっています。

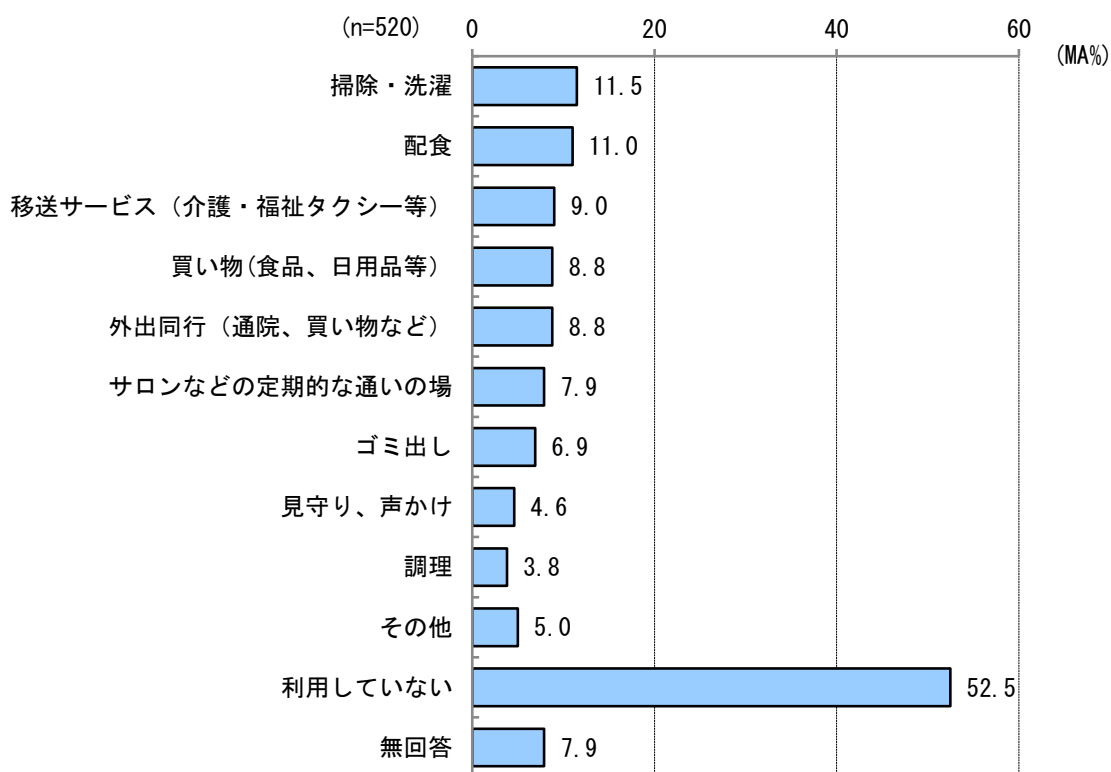


## (8) 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

A票・問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも選択可)

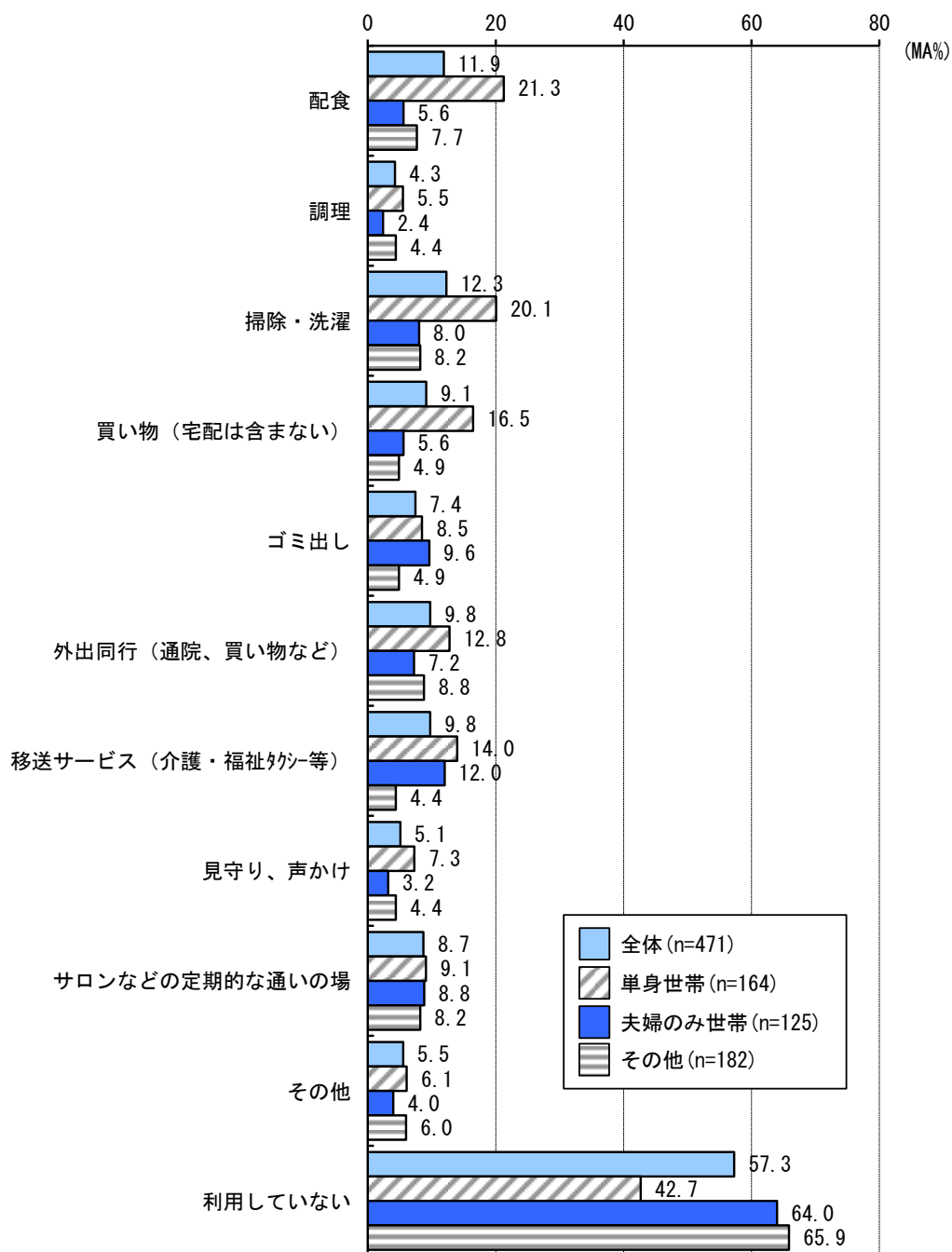
- ・ 「利用していない」(52.5%)が半数を占め、一方、利用しているサービスは、「掃除・洗濯」(11.5%)、「配食」(11.0%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(9.0%)などが多くなっています。
- ・ 世帯類型別でみると、単身世帯では「配食」(21.3%)や「掃除・洗濯」(20.1%)、「買い物(宅配は含まない)」(16.5%)などが上位となっています。

□全体



□世帯類型別（自動集計分析ソフトによる集計に基づく）

- ・ 世帯類型別で見ると、単身世帯では「配食」(21.3%)や「掃除・洗濯」(20.1%)、「買い物（宅配は含まない）」(16.5%)などが上位となっています。

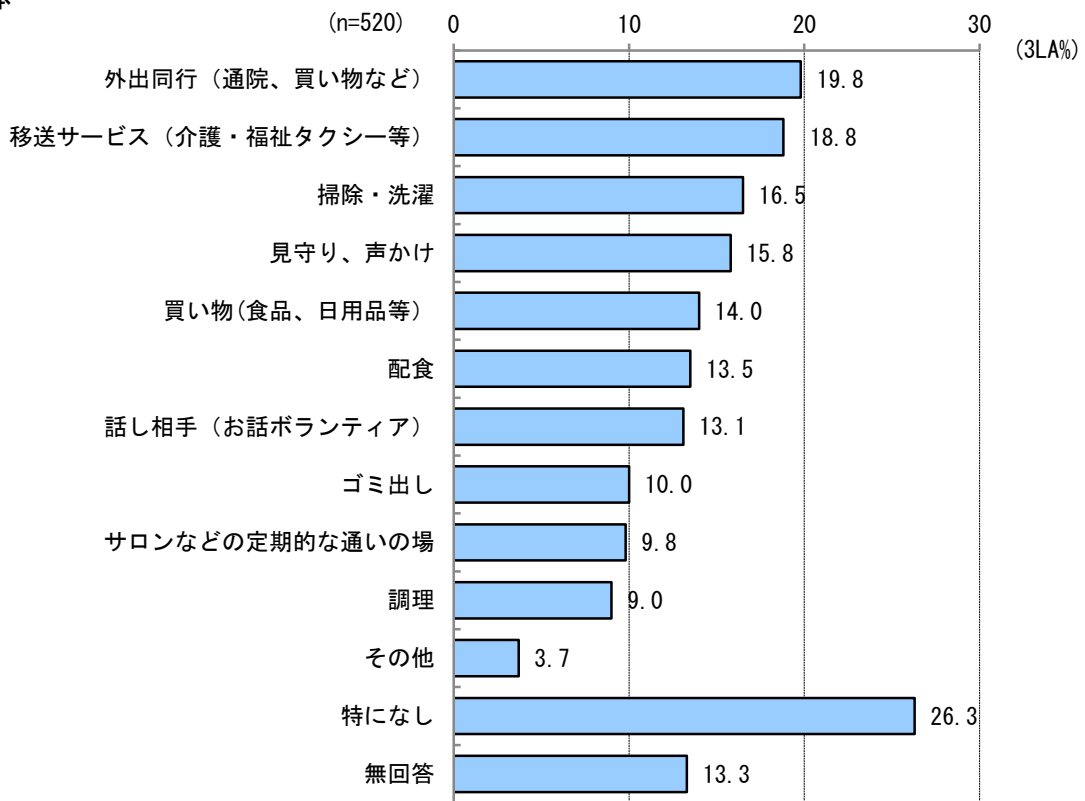


(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

A票・問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（3つまで選択可）

- ・ 「外出同行（通院、買い物など）」が19.8%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.8%、「掃除・洗濯」が16.5%となっています。一方、「特になし」は26.3%となっています。
- ・ 圏域別では、北部圏域は「外出同行（通院、買い物など）」が、南部圏域は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ最も多くなっています。

□全体



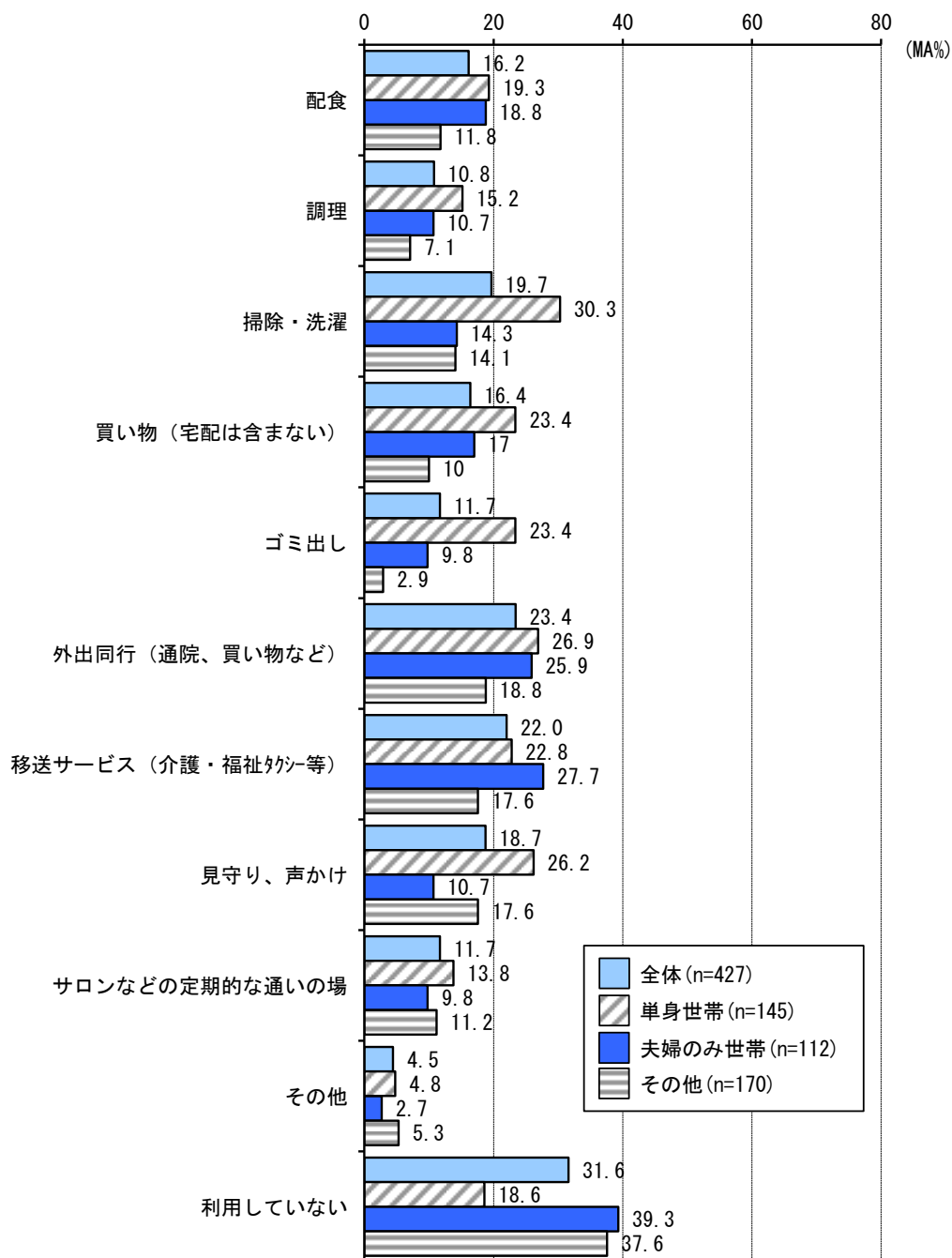
□圏域別

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=520)	外出同行（通院、買い物など） 19.8	移送サービス（介護・福祉タクシー等） 18.8	掃除・洗濯 16.5	見守り、声かけ 15.8	買い物（食品、日用品等） 14.0
北部圏域 (n=123)	外出同行（通院、買い物など） 22.8	掃除・洗濯 17.9	移送サービス（介護・福祉タクシー等） 15.4	見守り、声かけ 15.4	買い物（食品、日用品等） 11.4
南部圏域 (n=395)	移送サービス（介護・福祉タクシー等） 19.7	外出同行（通院、買い物など） 18.7	掃除・洗濯 15.9	見守り、声かけ 15.7	配食／買い物（食品、日用品等） 14.4



□世帯類型別（自動集計分析ソフトによる集計に基づく）

- ・ 世帯類型別では、単身世帯は「掃除・洗濯」（30.3%）や「外出同行（通院、買い物など）」（26.9%）、「見守り・声かけ」（26.2%）などが多くなっています。夫婦のみ世帯では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（27.7%）や「外出同行（通院、買い物など）」（25.9%）などが上位となっています。

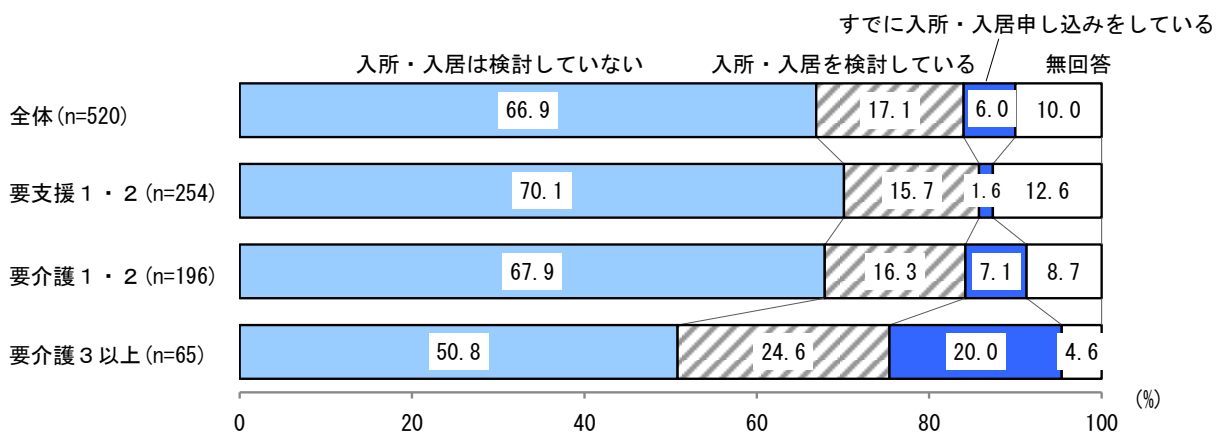


(10) 施設等への入所・入居の検討状況

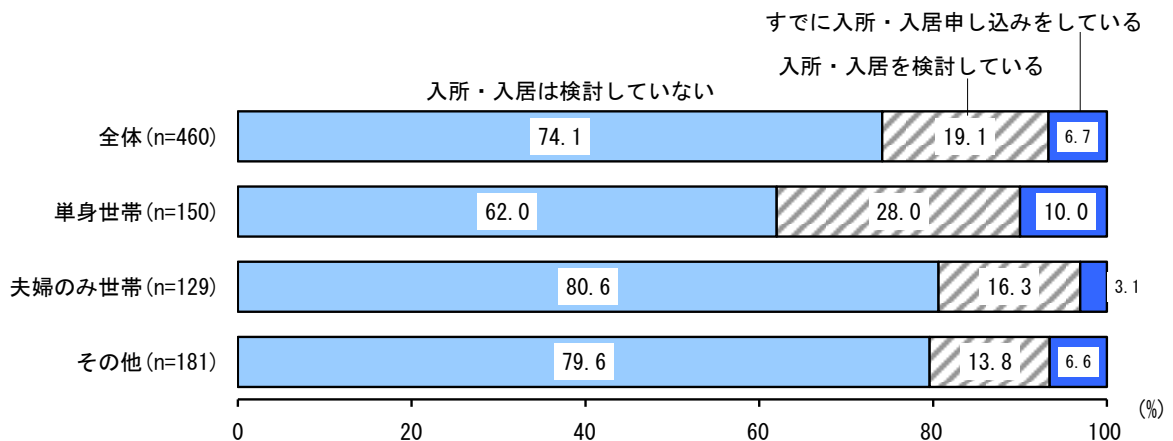
A 票・問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・ 全体では、「入所・入居は検討していない」が66.9%を占めています。
- ・ 要介護度別では、「入所・入居を検討している」と「すでに申し込みをしている」の各割合は要介護度が上がるほど高く、要介護3以上でそれぞれ24.6%、20.0%となっています。
- ・ 世帯類型別では、「入所・入居を検討している」と「すでに申し込みをしている」の各割合は単身世帯で高くなっています。

□要介護度別



□世帯類型別 (自動集計分析ソフトによる集計に基づく)

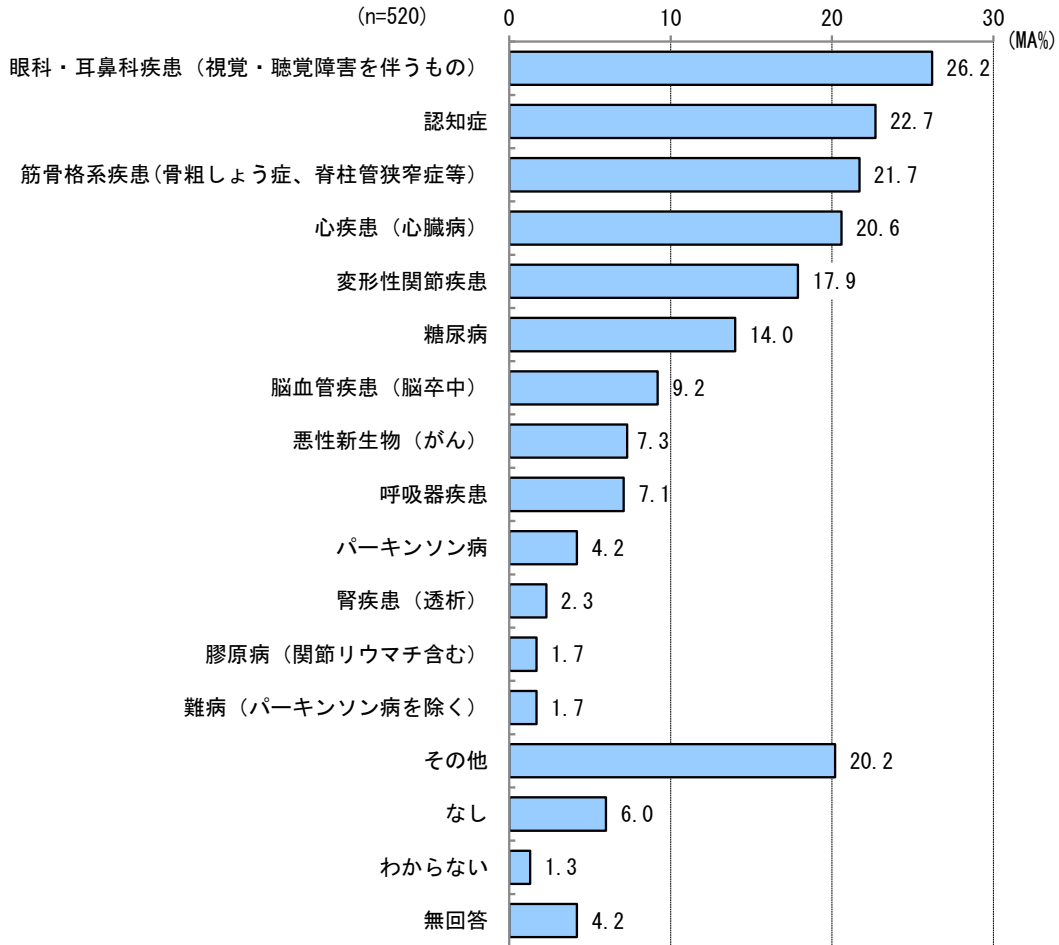


(11) 本人（調査対象者）が現在抱えている傷病

A票・問11 ご本人（調査対象者）が現在抱えている傷病について、ご回答ください。（いくつでも選択可）

- ・ 全体では「眼科・耳鼻科疾患」が最も多く、次いで「認知症」となっています。
- ・ 要支援認定者では「眼科・耳鼻科疾患」が、要介護認定者では「認知症」が多くなっています。

□全体



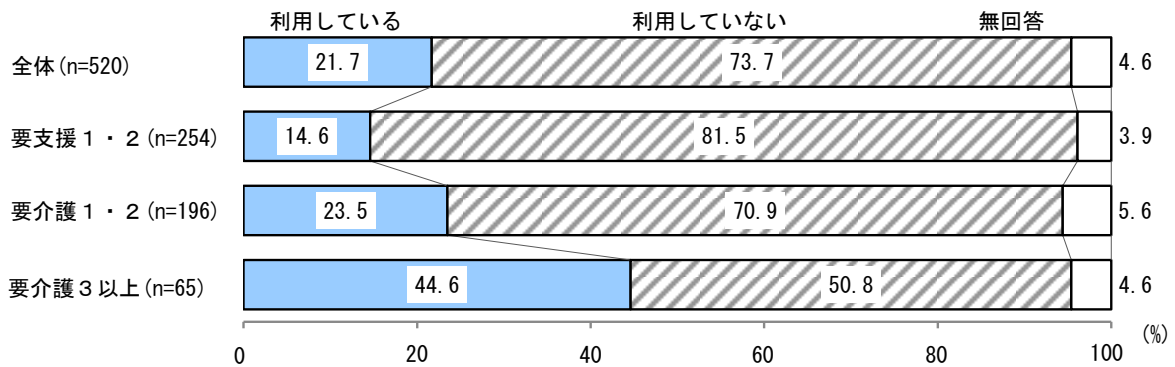
□要介護度別

	(上位5疾病・%)				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=520)	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの) 26.2	認知症 22.7	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) 21.7	心疾患 (心臓病) 20.6	変形性関節疾患 17.9
要支援1・2 (n=254)	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの) 27.6	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) 22.0	変形性関節疾患 22.0	心疾患 (心臓病) 21.7	糖尿病 13.8
要介護1・2 (n=196)	認知症 39.3	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの) 24.5	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) 23.0	心疾患 (心臓病) 21.4	糖尿病 15.3
要介護3以上 (n=65)	認知症 44.6	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの) 24.6	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) 16.9	脳血管疾患 (脳卒中) 15.4	心疾患 (心臓病) 15.4

## (12) 訪問診療の利用有無

A票・問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）  
 ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません

- ・ 全体では「利用している」が21.7%に対し、「利用していない」が73.7%となっています。
- ・ 「利用している」割合は、要介護度が上がるとともに上昇し、要介護3以上では44.6%となっています。

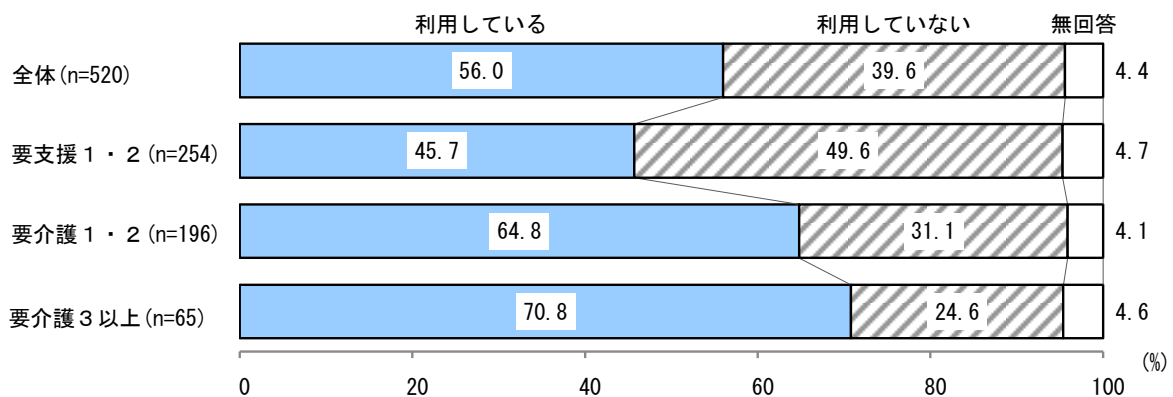


## (13) 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）の利用状況

A票・問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）

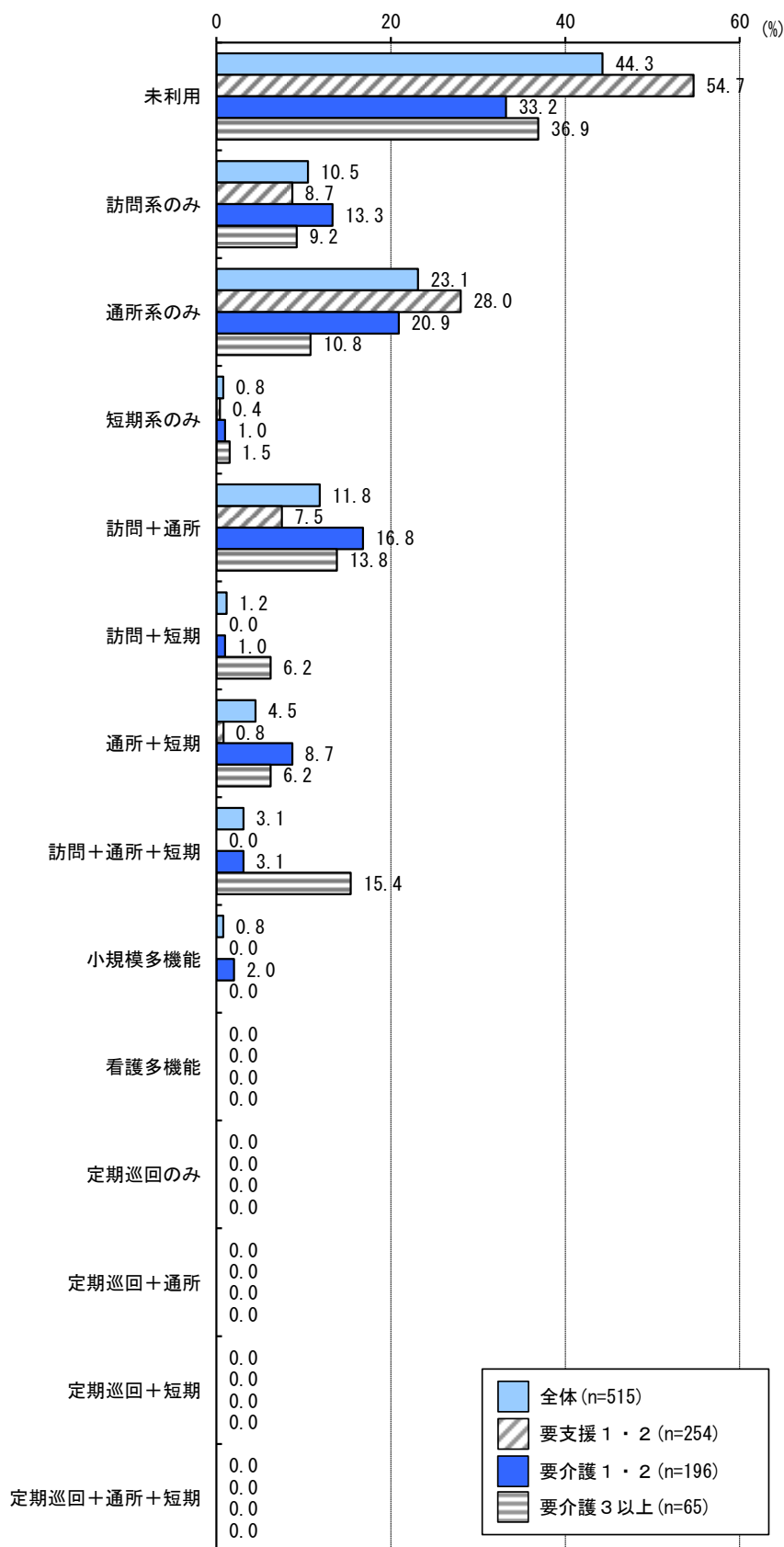
- ・ 全体では「利用している」が56.0%に対し、「利用していない」が39.6%となっています。
- ・ 「利用している」割合は、要介護度が上がるとともに上昇し、要介護3以上では70.8%を占めています。

### ①利用状況



## ②介護保険サービスの組み合わせの利用状況（自動集計分析ソフトによる集計に基づく）

- 介護保険サービスの組み合わせの利用状況をみると、要支援認定者及び要介護1・2認定者は「通所系のみ」が、要介護3以上の認定者は「訪問+通所+短期」が多くなっています。

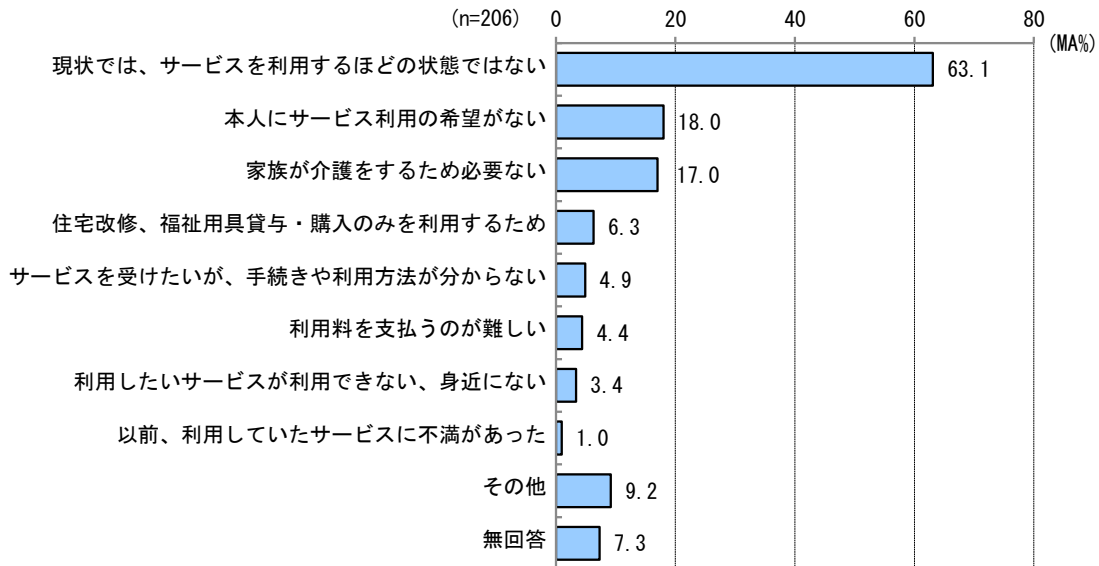


#### (14) 介護保険サービスを利用していない理由

A票・問14 【問13で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。】

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも選択可)

- ・ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(63.1%) が最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(18.0%)、「家族が介護するため必要ない」(17.0%)が続いています。

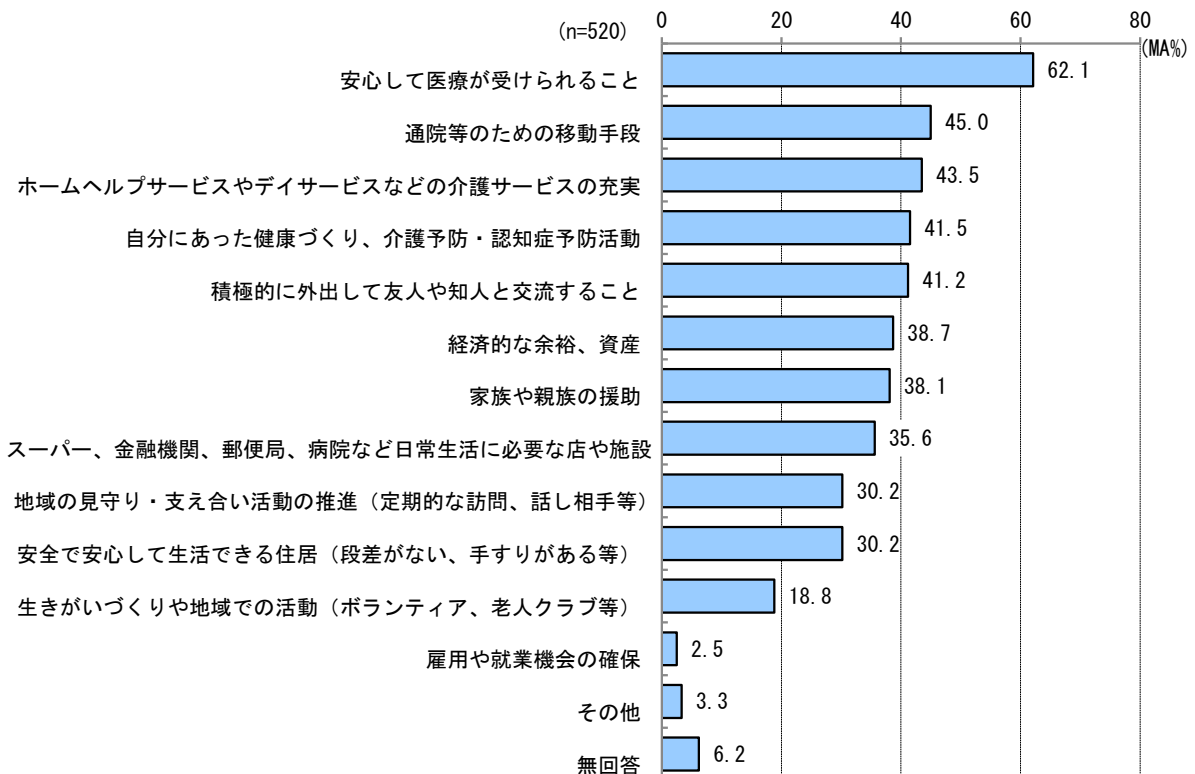


#### (15) 住み慣れた地域で安心して過ごすために必要なこと

A票・問15 住み慣れた地域で、いつまでも安心して過ごすには何が必要だと思えますか。

(いくつでも選択可)

- ・ 「安心して医療が受けられること」が最も多くなっています。

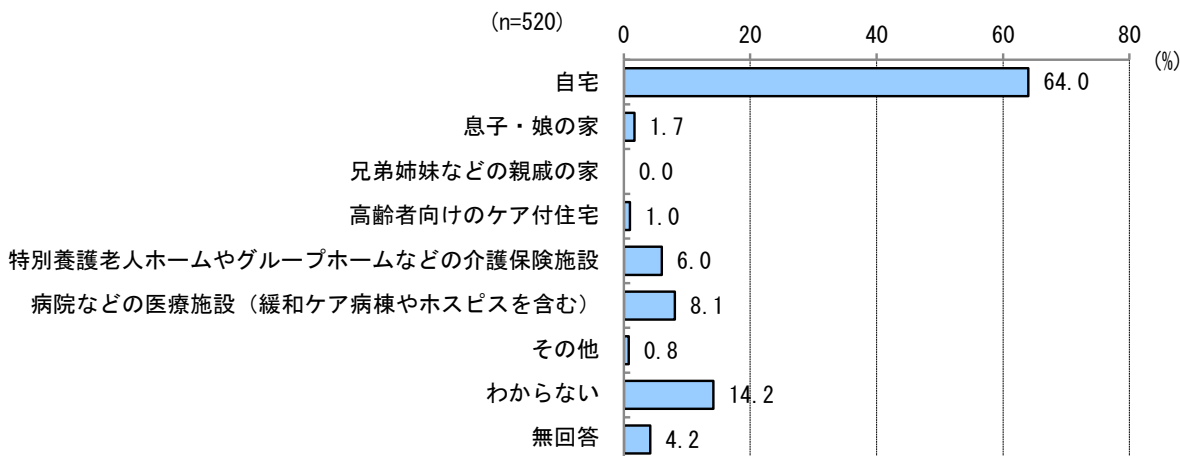


### 3 人生の終い支度や終末医療について

#### (1) 本人が人生の最期を迎えたい場所

A票・問16 ご本人（調査対象者）は、人生の最期をどこで迎えたいですか。（1つを選択）

- ・ 「自宅」が 64.0%で最も多く、次いで「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピスを含む）」(8.1%)、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護保険施設」(6.0%)となっています。

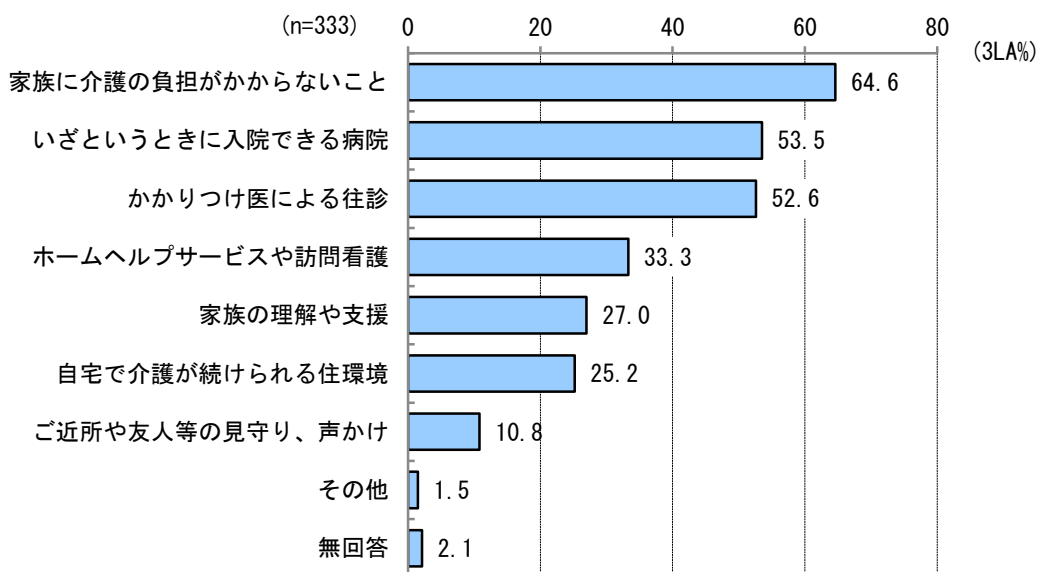


#### (2) 最期まで自宅で過ごすために必要なこと

A票・問17 【問16で「1. 自宅」と回答した方にお伺いします。】

最期まで自宅で過ごすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで選択可）

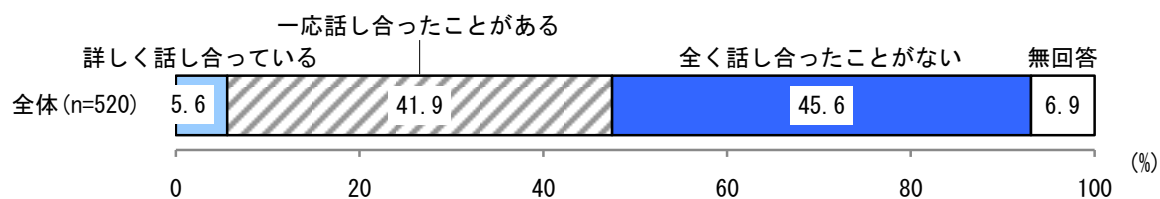
- ・ 「家族に介護の負担がかからないこと」(64.6%)が最も多く、次いで「いざというときに入院できる病院」(53.5%)、「かかりつけ医による往診」(52.6%)となっています。



### (3) 人生の最終段階での医療について家族と話し合った経験の有無

A票・問18 人生の最終段階における医療についてお聞きします。ご自身の死が近づいた場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つを選択)

- ・ 「全く話し合ったことがない」が45.6%で最も多く、次いで「一応話し合ったことがある」が41.9%で、「詳しく話し合っている」は5.6%となっています。



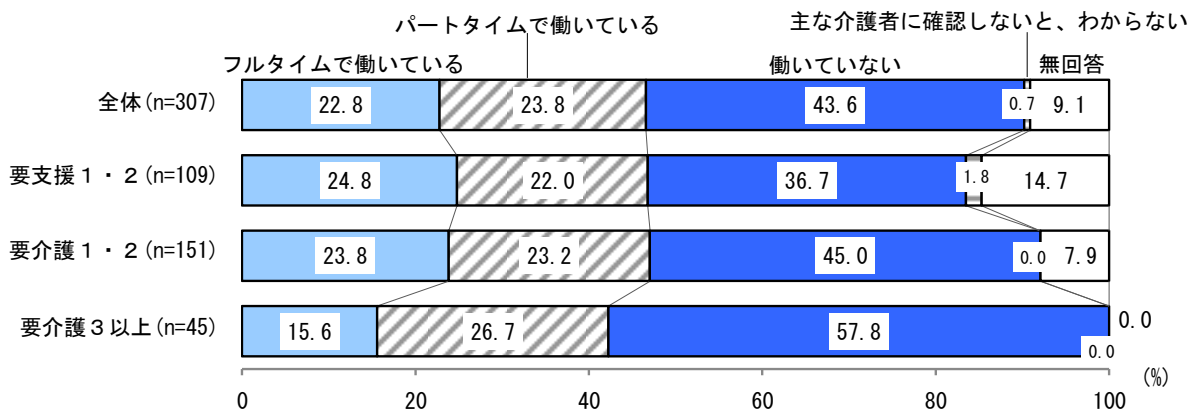


## 4 主な介護者の就労と介護の両立について

### (1) 勤務形態

B票・問1 主な介護者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。(1つを選択)

- ・ 『働いている』(「フルタイムで働いている」+「パートタイムで働いている」)割合は、いずれの要介護度も4割台となっています。
- ・ 「働いていない」割合は要介護度が上がるほど高く、要介護3以上で57.8%となっています。

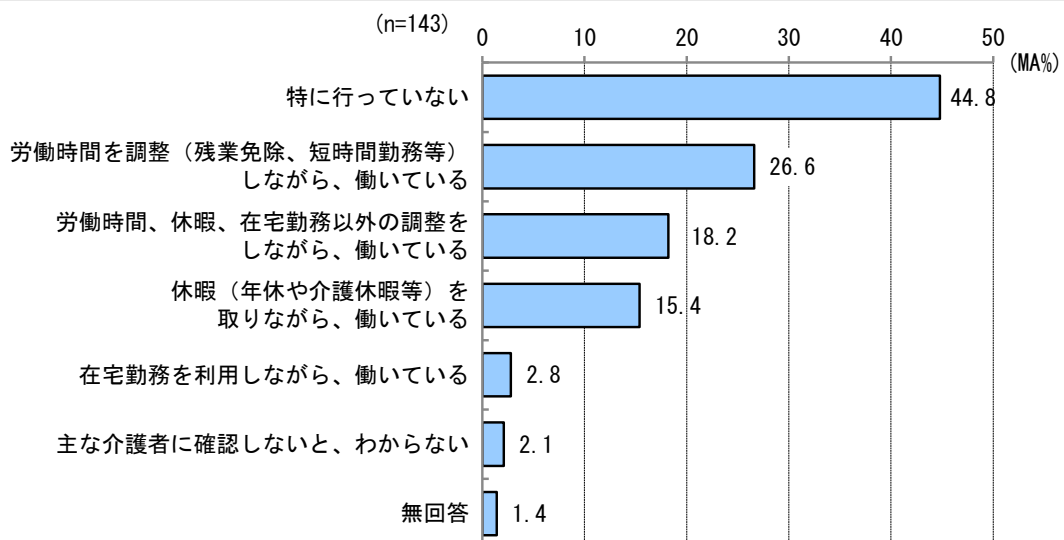


### ①働き方についての調整等

B票・問2 【問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(いくつでも選択可)

- ・ 「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務等)しながら、働いている」が26.6%、「労働時間、休暇、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」が18.2%となっています。

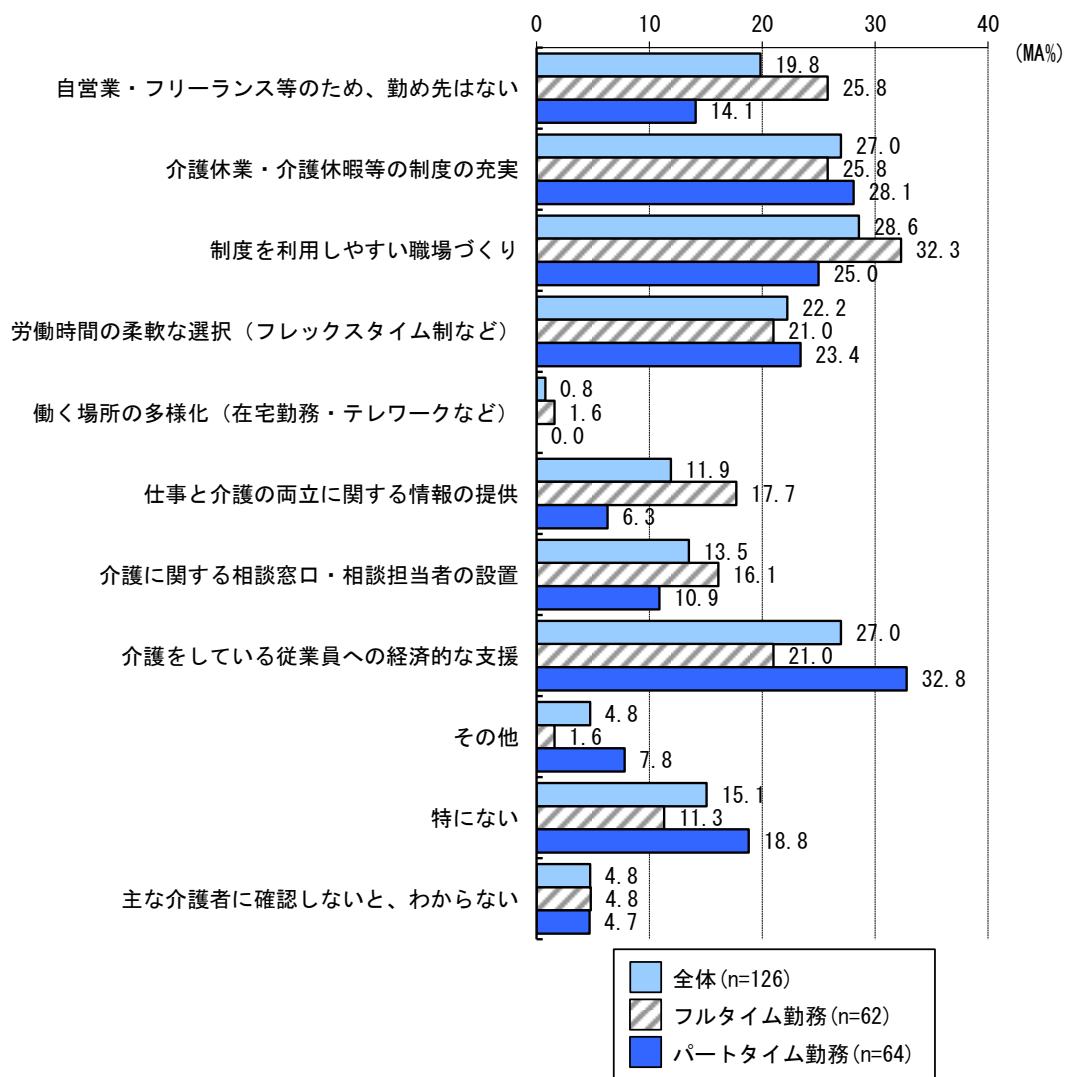


## ②仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援

**B票・問3** 【問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

- 全体で見ると、「制度を利用しやすい職場づくり」(28.6%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(27.0%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(27.0%)が上位となっています。
- 介護者の就労形態別で見ると、フルタイム勤務者は「制度を利用しやすい職場づくり」(32.3%)が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(25.8%)が多くなっています。一方、パートタイム勤務者は「介護をしている従業員への経済的な支援」(32.8%)が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(28.1%)となっています。



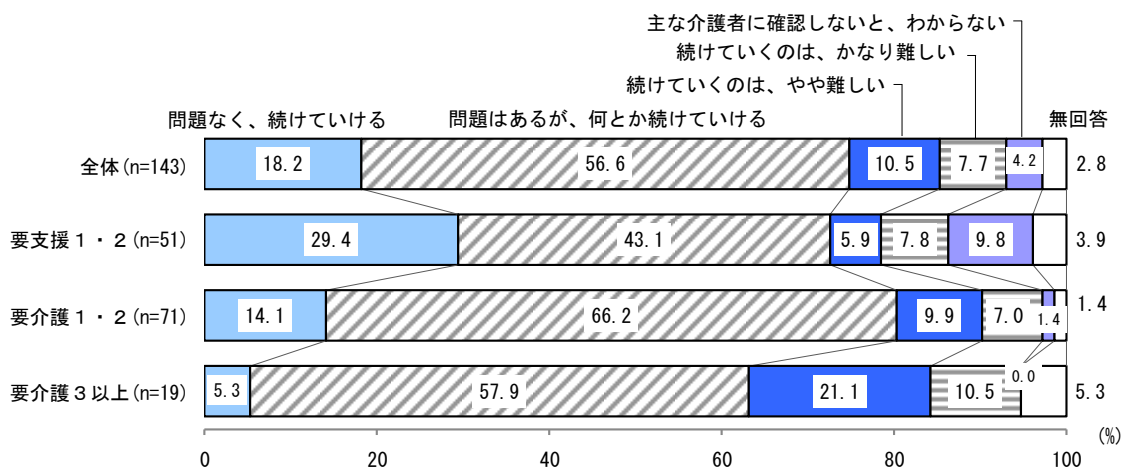
(自動集計分析ソフトによる集計に基づく)

### ③仕事と介護の両立の継続意向

**B票・問4** 【問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。  
(1つを選択)

- ・ 全体では、『続けていける』(「問題なく、続けていける」+「問題はあるが、何とか続けていける」)割合は74.8%となっています。
- ・ 『続けていける』割合は、要介護1・2が80.3%と最も高くなっています。
- ・ 『続けていくのは難しい』の割合は、要介護3以上では31.6%となっています。

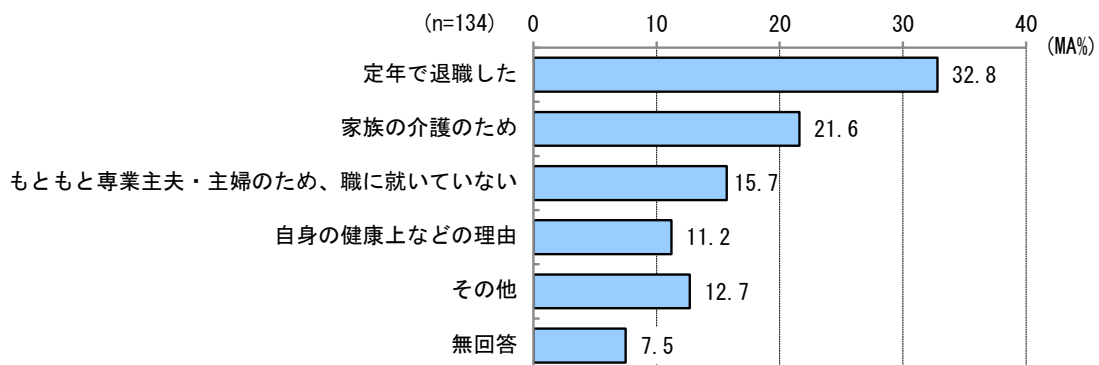


### ④主な介護者が働いていない理由

**B票・問5** 【問1で「3. 働いていない」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方の働いていない理由は、何ですか。(1つを選択)

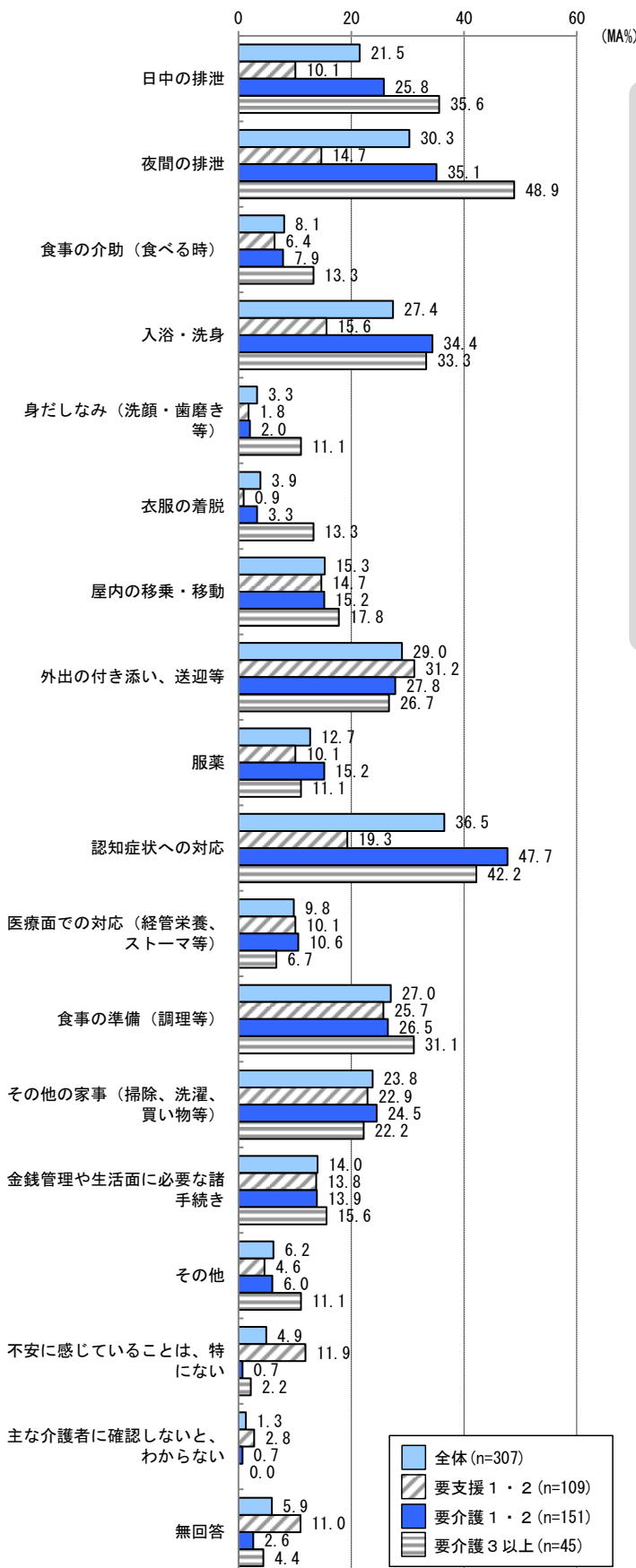
- ・ 「定年で退職した」(32.8%)が最も多く、次いで「家族の介護のため」(21.6%)となっています。



\* 複数の回答があったため、すべての回答を有効としています。

(2) 現在の生活を継続するうえで介護者が不安に感じる介護等

B票・問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)(3つまで選択可)



- 全体では、「認知症状への対応」(36.5%)が最も多く、次いで「夜間の排泄」(30.3%)、「外出の付き添い、送迎等」(29.0%)が続いています。
- 要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」が最も多く、次いで「食事の準備(調理等)」が多くなっています。
- 要介護1・2では「認知症状への対応」が最も多く、次いで「夜間の排泄」が多くなっています。
- 要介護3以上では「夜間の排泄」が最も多く、次いで「認知症状への対応」が多くなっています。

